

三浦工業株式会社

決算説明及び業績予想 ミウラの成長戦略



三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員CEO 宮内 大介

開催日：2018年5月23日(水)

熱・水・環境のベストパートナー



目次

1	会社概要	2
2	2018年3月期末決算の概要	4
3	利益配分、株式の状況	14
4	中期経営計画2018	16
5	ランドリー事業	21
6	新ショールームのご紹介	35
7	参考資料	38

注意事項

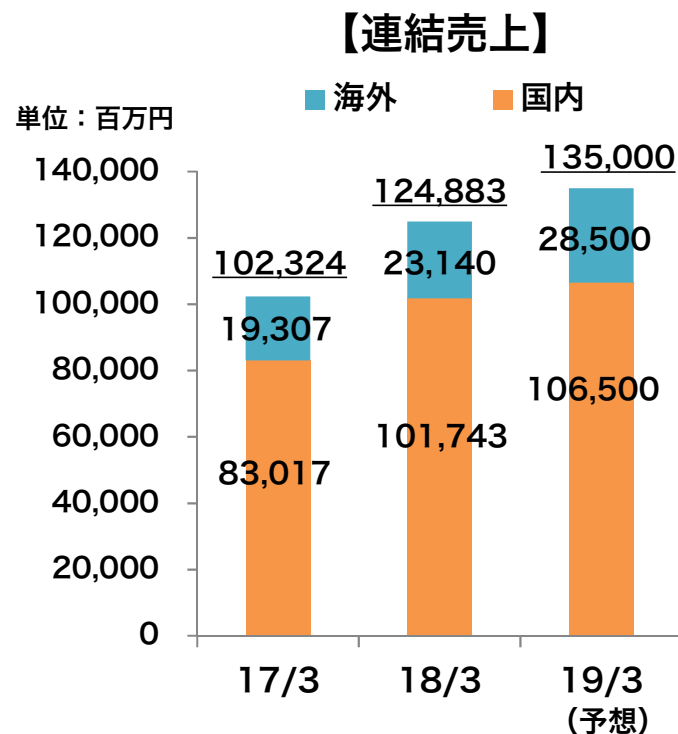
本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 会社概要

熱・水・環境のベストパートナー



社 名	三浦工業株式会社
所 在 地	愛媛県松山市堀江町 7 番地
設 立	1959年 5 月
ミウラグループ (三浦工業含む)	国内 13社、海外 15社 ※ 2018年3月31日現在
従 業 員	グループ 5,552名 (うち海外 1,567名)
事業内容	機器販売事業 メンテナンス事業
格付情報	発行体格付 A (維持) 2017年10月公表 株式会社格付投資情報センター (R&I)



<IFRS>	単位	17年3月期	18年3月期 計画	18年3月期	19年3月期 計画
売上収益	百万円	102,324	120,000	124,883	135,000
営業利益	百万円	12,401	14,000	13,868	14,800
税引前利益	百万円	12,898	14,300	14,183	15,000
親会社の所有者に 帰属する当期利益	百万円	9,012	9,700	10,363	10,700
基本的 1 株当たり 当期利益	円	80.08	86.19	92.09	95.08

2. 2018年3月期末決算の概要

熱・水・環境のベストパートナー



2 2018年3月期末決算の概要

業績

[単位：百万円]

<IFRS>	17年3月期	18年3月期	19年3月期(予想)
売上収益	102,324	124,883	135,000
売上原価	60,176	75,946	81,700
販管費	30,247	35,551	39,000
その他の収益	622	575	500
その他の費用	121	91	—
営業利益	12,401	13,868	14,800
税引前利益	12,898	14,183	15,000
親会社の所有者に 帰属する当期利益	9,012	10,363	10,700

決算の概要

国内

ボイラ、連続式洗濯機の売上堅調 食品機器の売上好調

小型貫流ボイラ：鉄鋼・機械の分野で堅調

船用：中小型船の新船建造減少などにより減収

ランドリー：ホテルリネンの需要増を背景に堅調に推移

海外

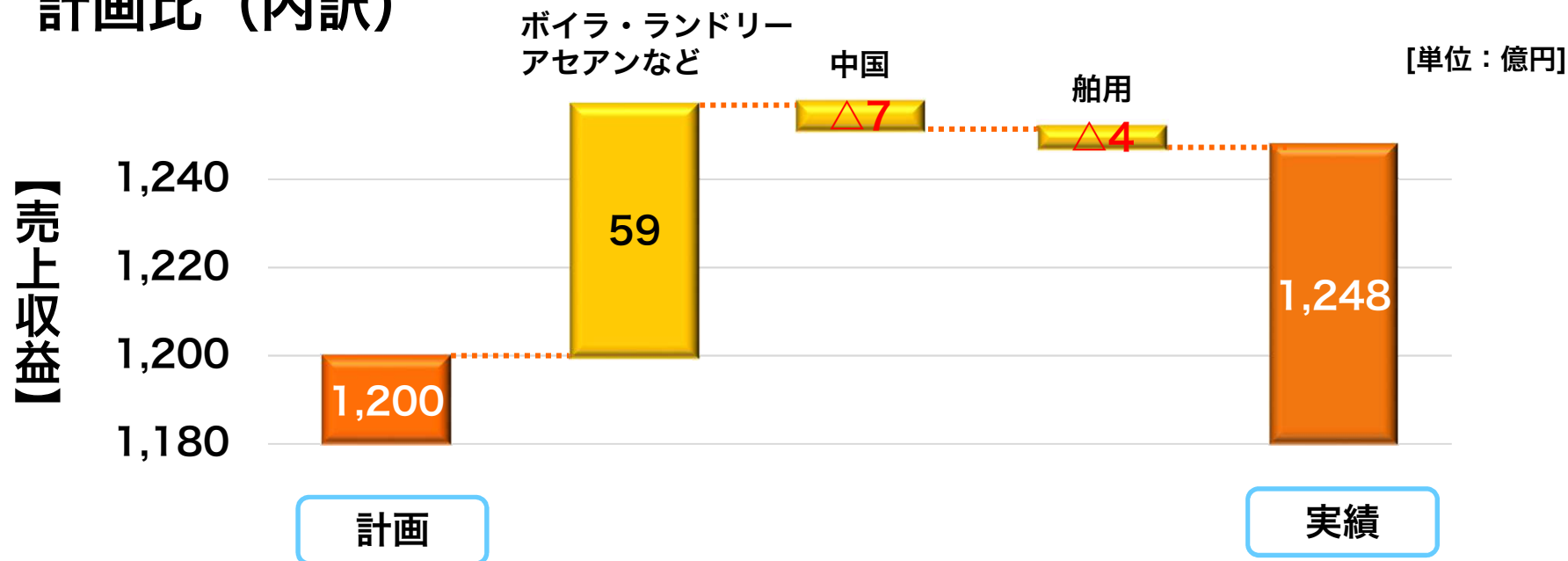
中国が環境規制の強化により大幅増収

中国：ガス焚きボイラへの入替需要増加

台湾・アセアン地域：売上好調 韓国・米州：売上堅調

2 2018年3月期末決算の概要

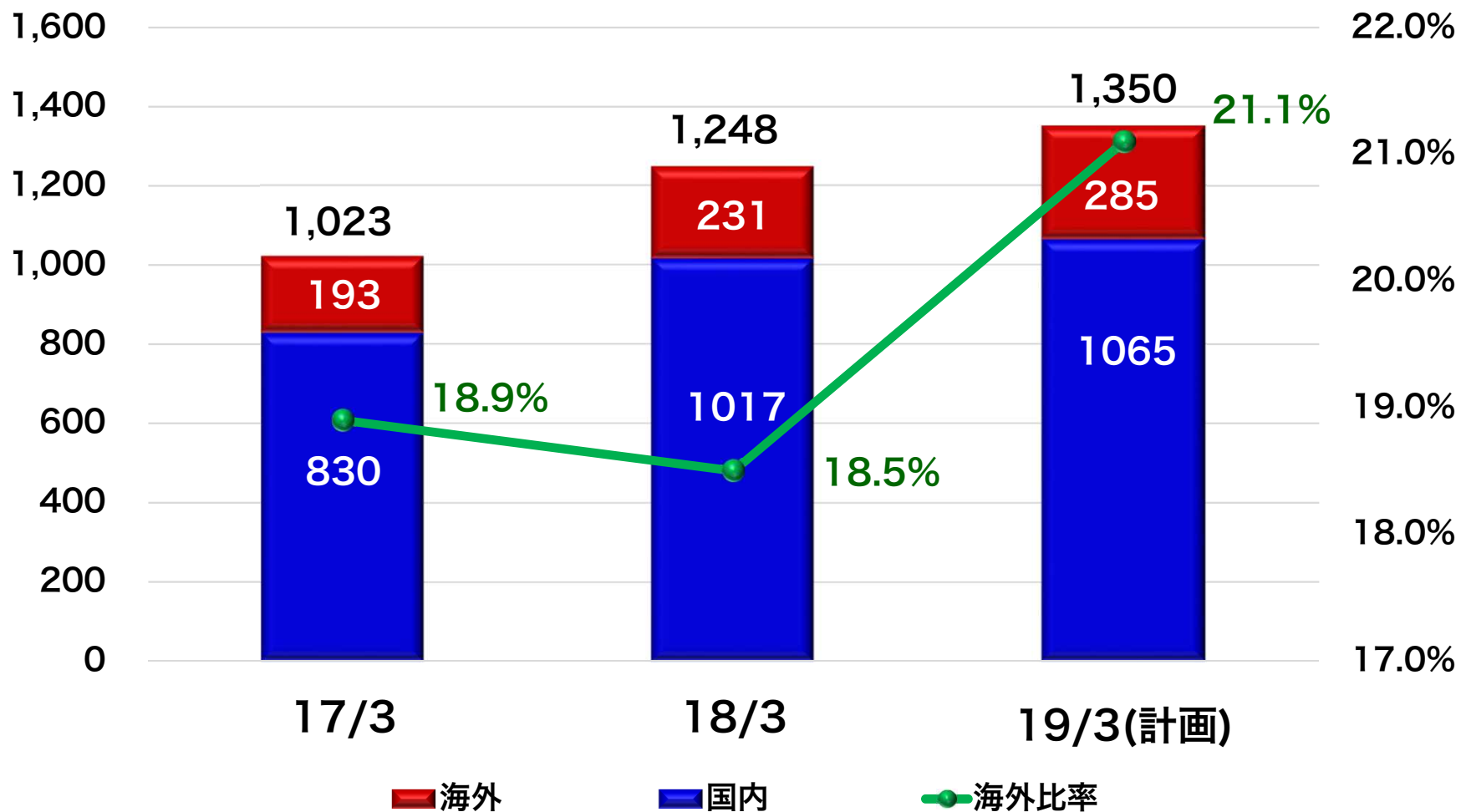
計画比（内訳）



2 2018年3月期末決算の概要

国内及び海外売上推移（IFRS）

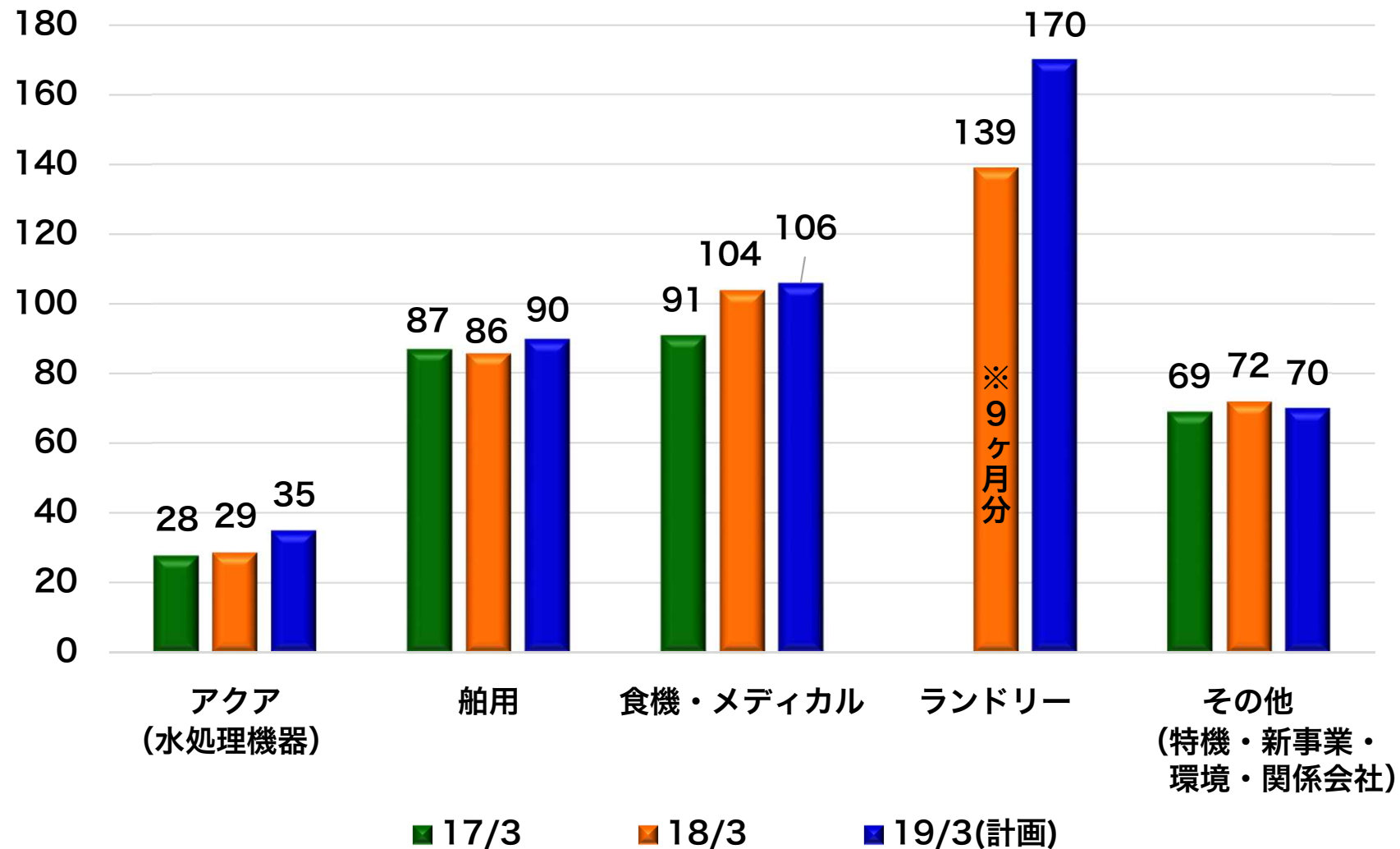
単位：億円



2 2018年3月期末決算の概要

国内売上の分析

単位：億円

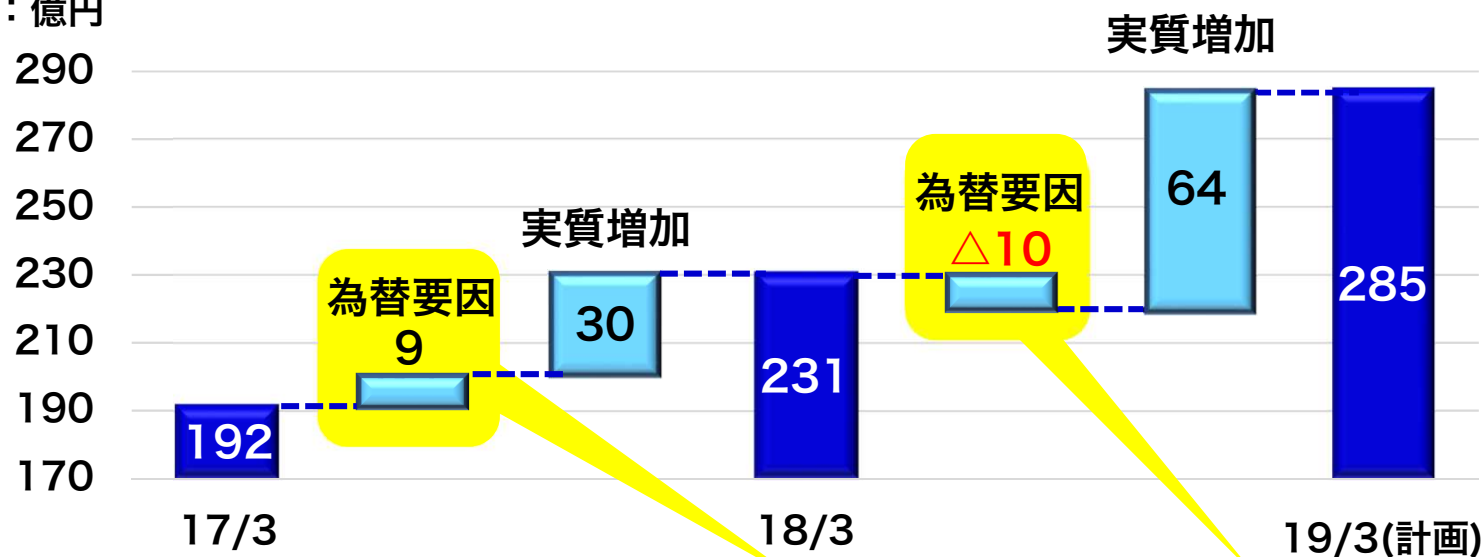


2 2018年3月期末決算の概要

海外売上増加要因分析

海外は為替の影響あるが、実質的にも売上を伸ばしている

単位：億円

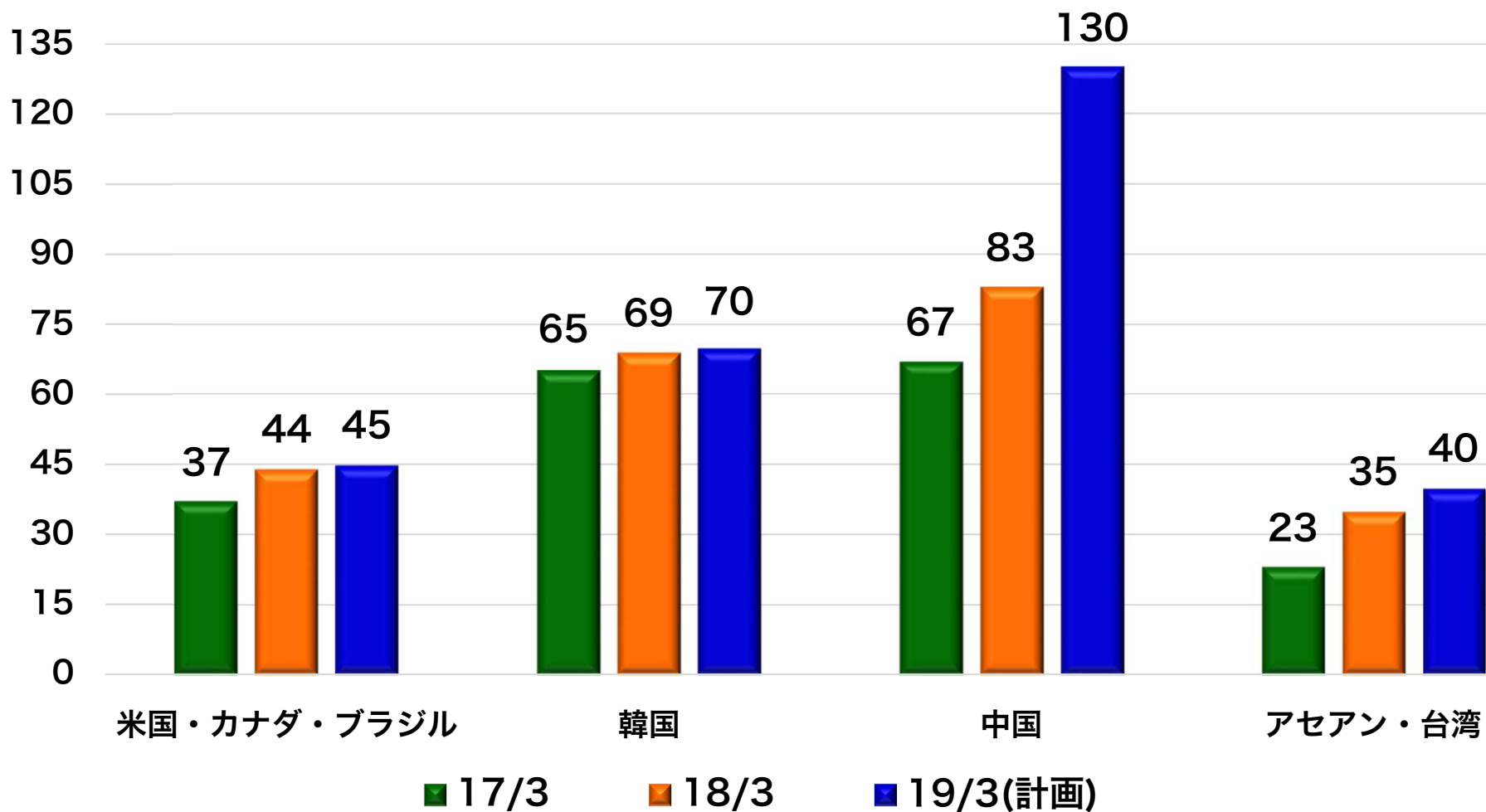


為替 (平均レート)	2016年度	2017年度	増減率	2018年度計画	増減率
USD	108.34	110.85	2.3%	105.00	-5.3%
CAD	82.50	86.43	4.8%	82.00	-5.1%
元	16.10	16.74	4.0%	16.40	-2.0%
WON (100W)	9.45	10.00	5.8%	9.60	-4.0%
ルピア (100Rp)	0.82	0.83	1.0%	0.80	-3.6%
台湾ドル	3.42	3.70	8.2%	3.50	-5.4%
ブラジルリアル	32.93	34.47	4.7%	32.00	-7.2%
タイバーツ	3.08	3.36	9.1%	3.20	-4.8%

2 2018年3月期末決算の概要

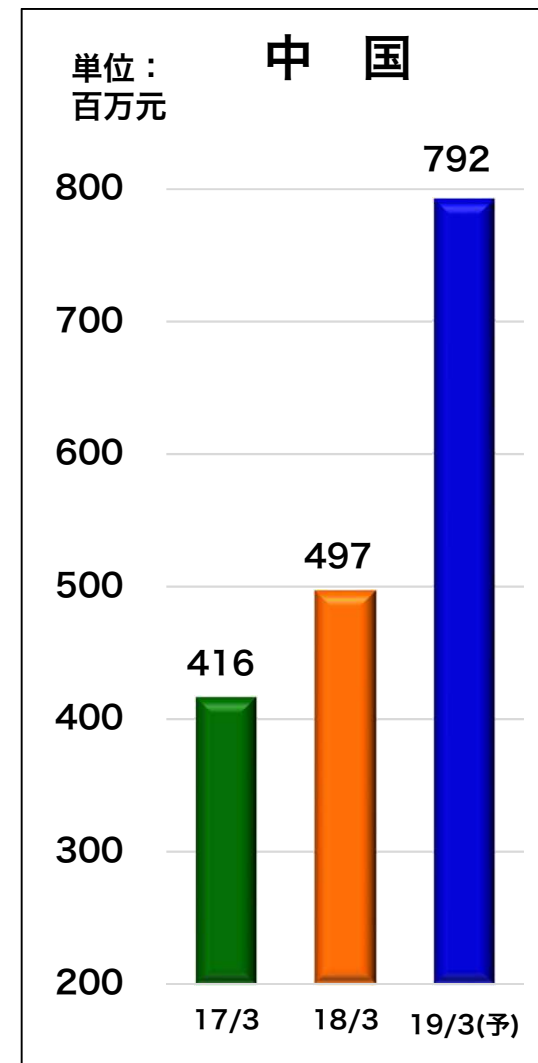
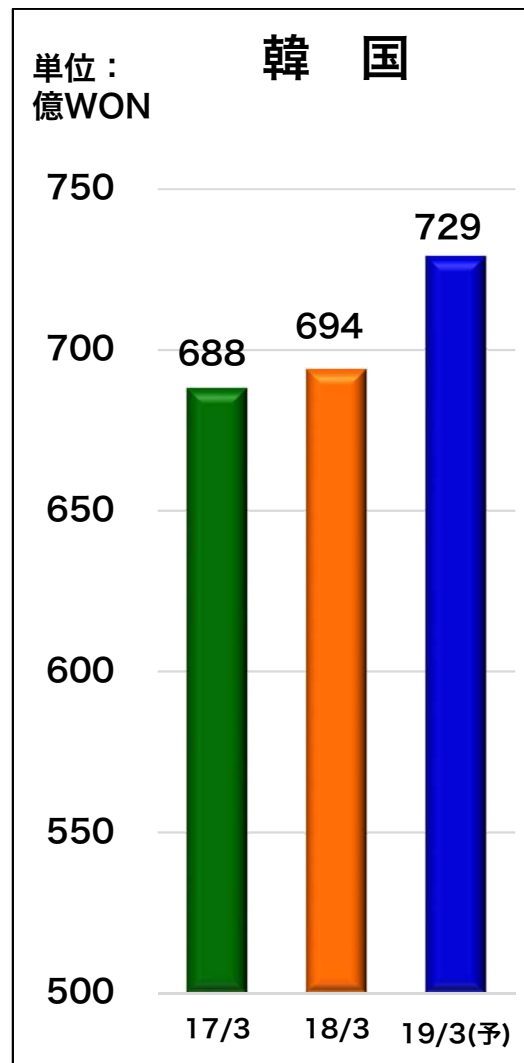
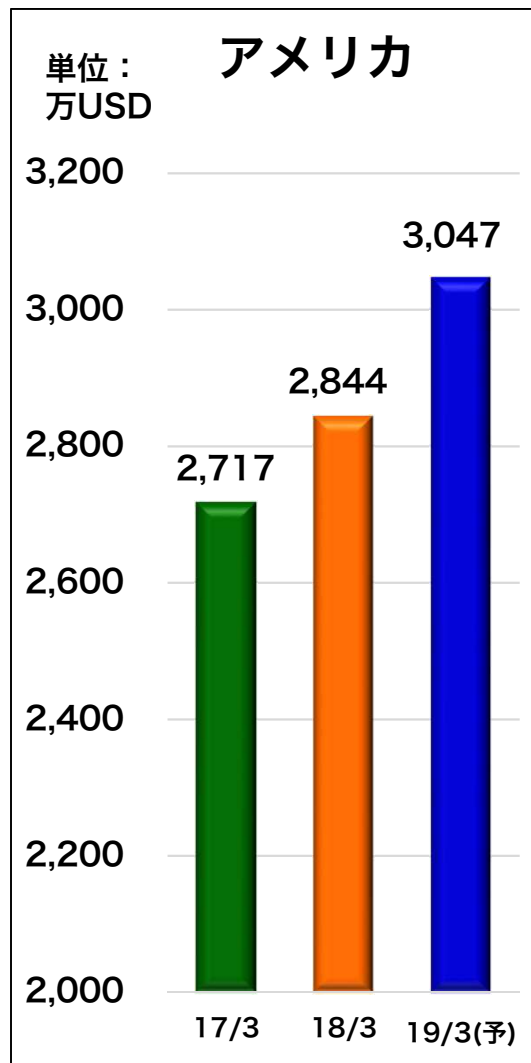
海外売上状況

単位：億円



2 2018年3月期末決算の概要

主な海外売上の状況（現地通貨ベース）

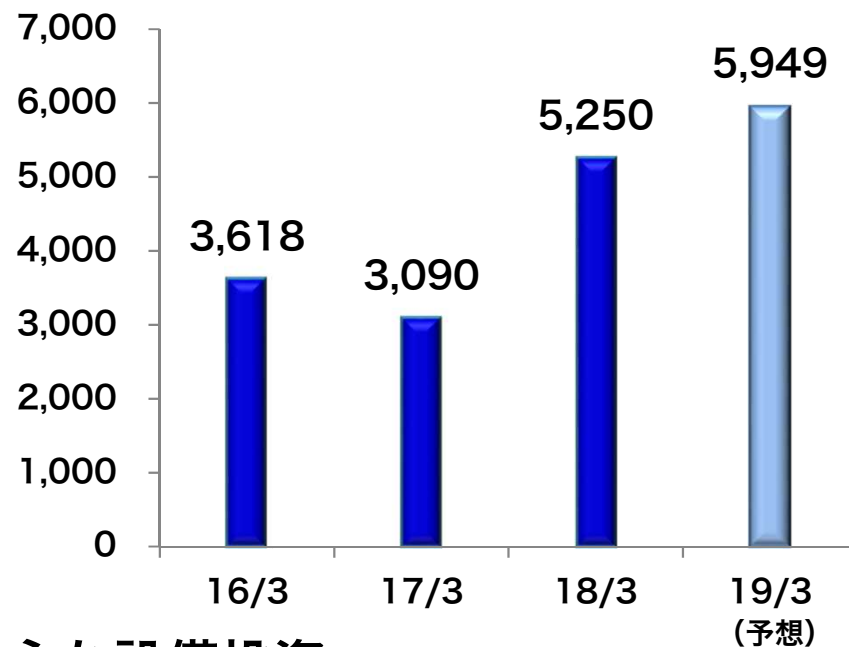


2 2018年3月期末決算の概要

設備投資

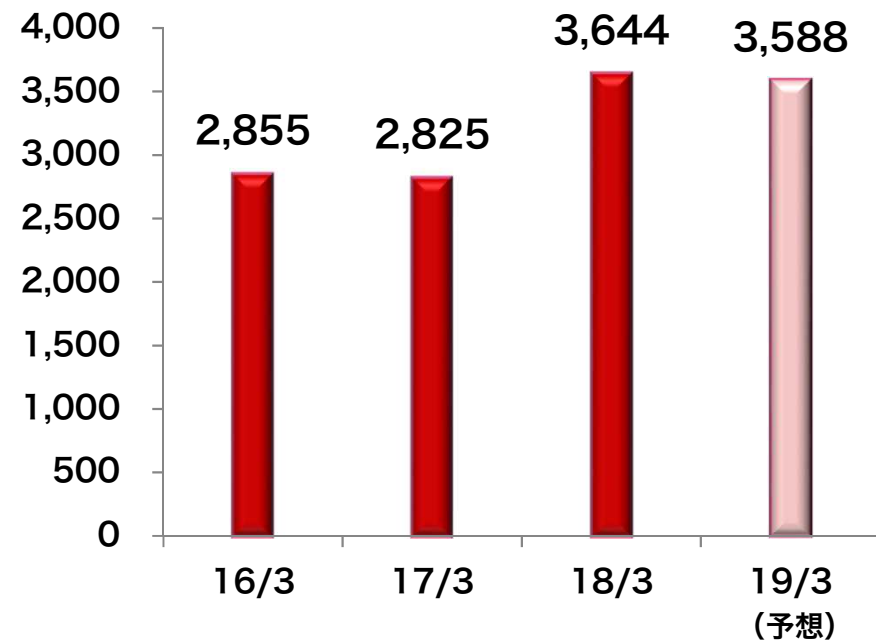
【設備投資の推移】

[単位：百万円]



【減価償却費の推移】

[単位：百万円]

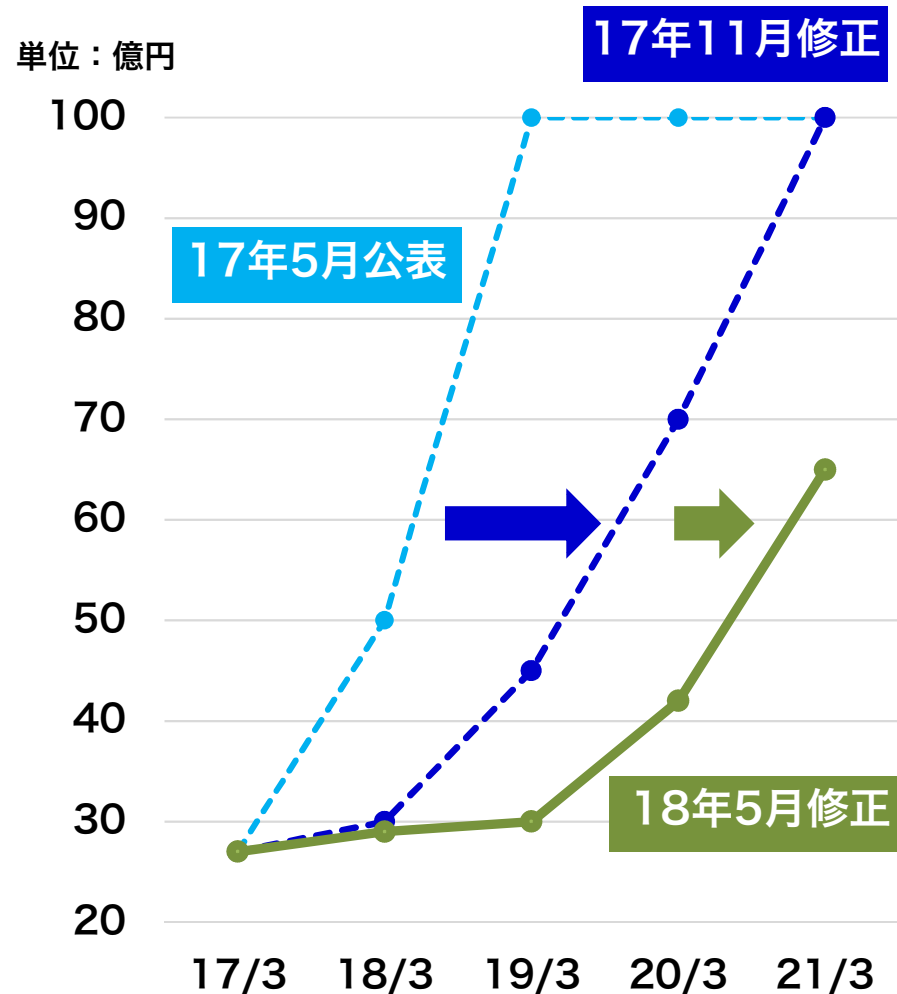


主な設備投資

2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
・ 本社新事務所棟	・ 多目的工場	・ ショールーム棟新設
・ 多目的工場	・ ショールーム棟新築	・ 中国第2工場
・ 環境分析機器生産工場改修	・ 本社棟空調設備改修	

2 2018年3月期末決算の概要

バラスト売上予想の修正



【バラスト水処理装置搭載時期の変更】

(就航船) 2017年9月以降
定期検査時

2年延期

(就航船) 2019年9月以降
定期検査時

【ミウラのUSCG TA取得予定の変更】

2018年3月までに取得予定

遅れ

2019年3月までに申請予定

3. 利益配分、株式の状況

熱・水・環境のベストパートナー



3 利益配分、株式の状況

① **安定的**な配当の継続

② 連結配当性向**30%**を目処

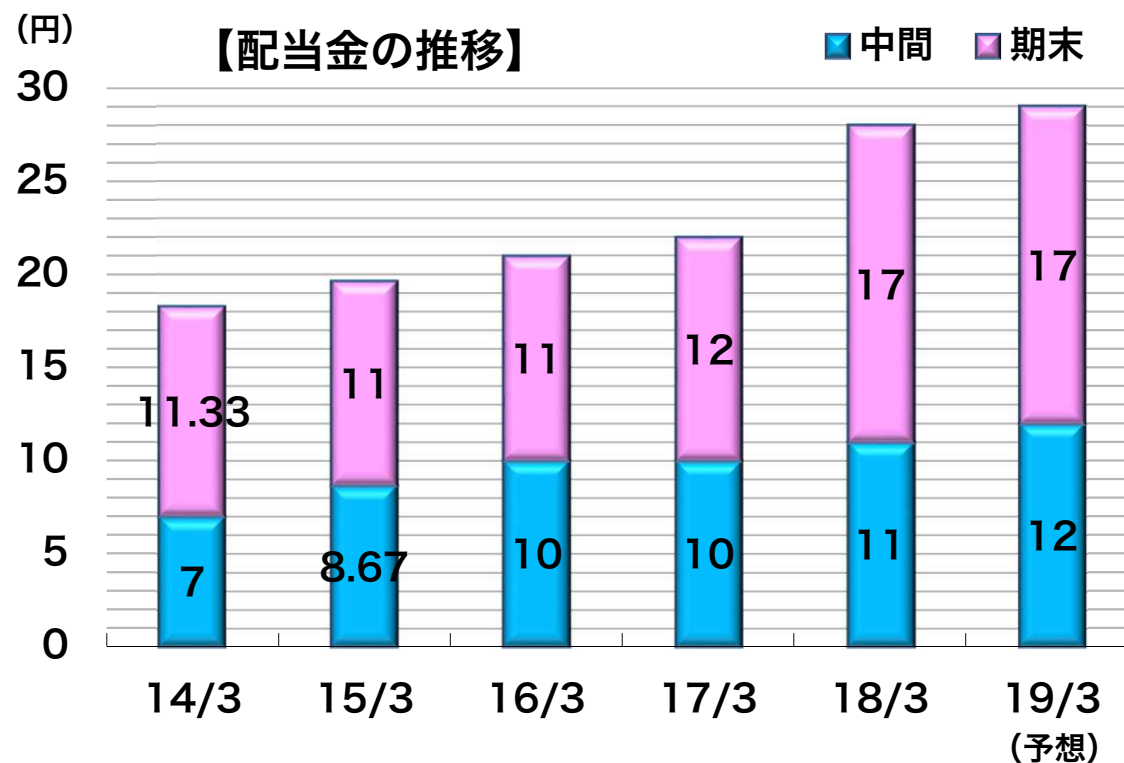


18年3月期

中間 11円
期末 17円
合計 28円

19年3月期

中間 12円
期末 17円
合計 29円 を予想



【ご参考】 ※ 2018年3月31日時点

- ・発行済株式総数（自己株式除く）
112,546,472 株
- ・自己株式数
12,744,640 株

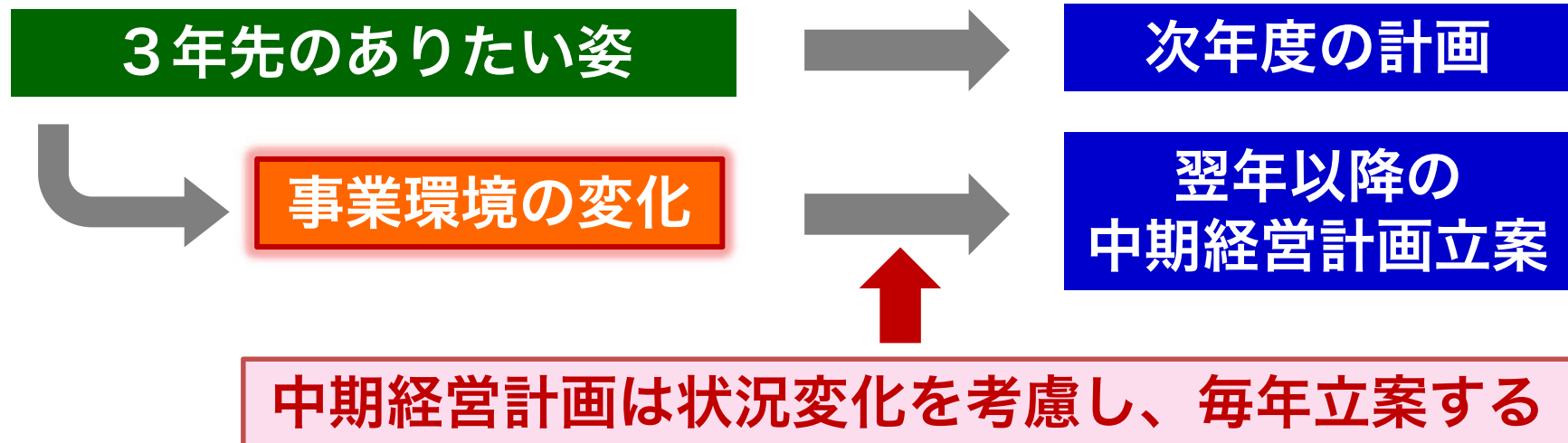
4. 中期経営計画2018

熱・水・環境のベストパートナー



4 中期経営計画2018

中期経営計画の考え方



ローリング方式

事業環境の変化等を考慮
して毎年ローリングする
方式

	FY 2016	FY 2017	FY 2018	FY 2019	FY 2020
中期経営計画 2016	2016-2018				
中期経営計画 2017		2017-2019			
中期経営計画 2018			2018-2020		

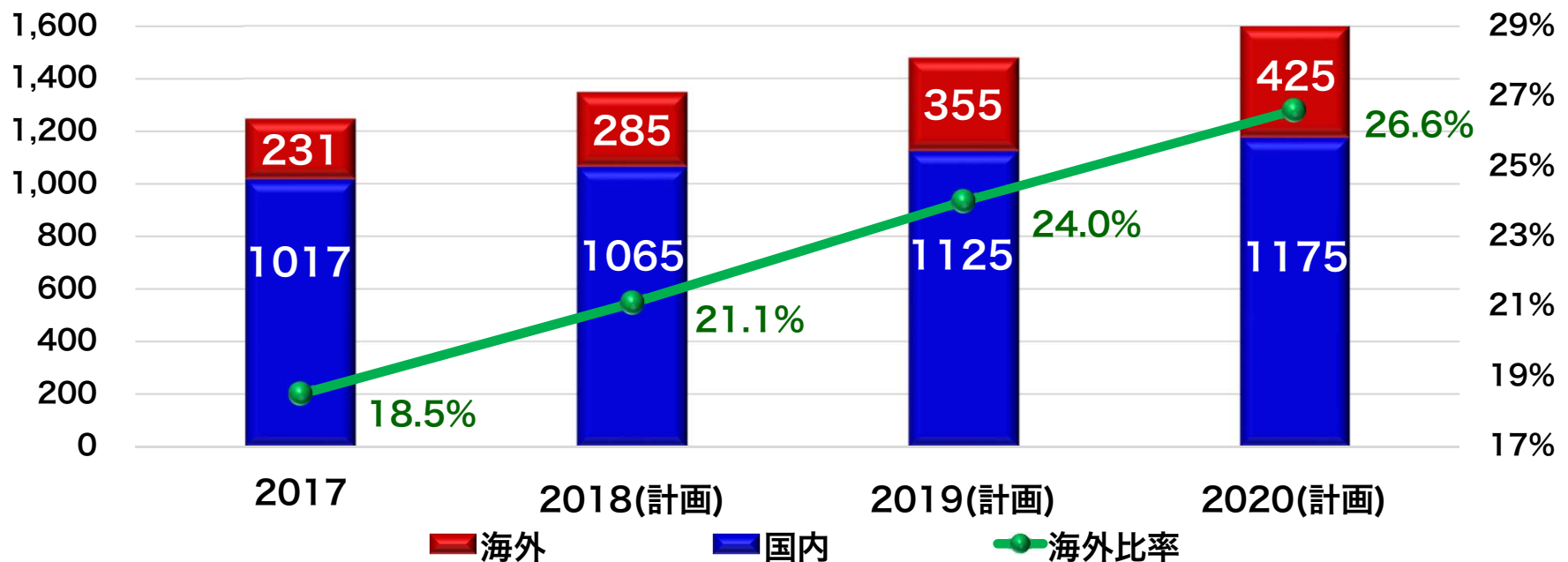
4 中期経営計画2018

概要

単位：億円

	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
売上収益	1,248	1,350	1,480	1,600
営業利益	138	148	165	180
営業利益率	11.1%	11.0%	11.1%	11.3%

単位：億円



4 中期経営計画2018

事業別

単位：億円

		2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
国内	ボイラ	588	594	600	608
	アクア(水処理機器)	29	35	37	39
	船用	86	90	108	120
	食機・メディカル	104	106	117	124
	ランドリー	139	170	185	195
	その他(特機・新事業開発・環境 等)	71	70	79	89
小 計		1,017	1,065	1,125	1,175
海外	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル)	44	45	53	59
	韓国	69	70	72	75
	中国	83	130	180	230
	アセアン・台湾	35	40	50	61
	小 計	231	285	355	425
合 計		1,248	1,350	1,480	1,600

4 中期経営計画2018

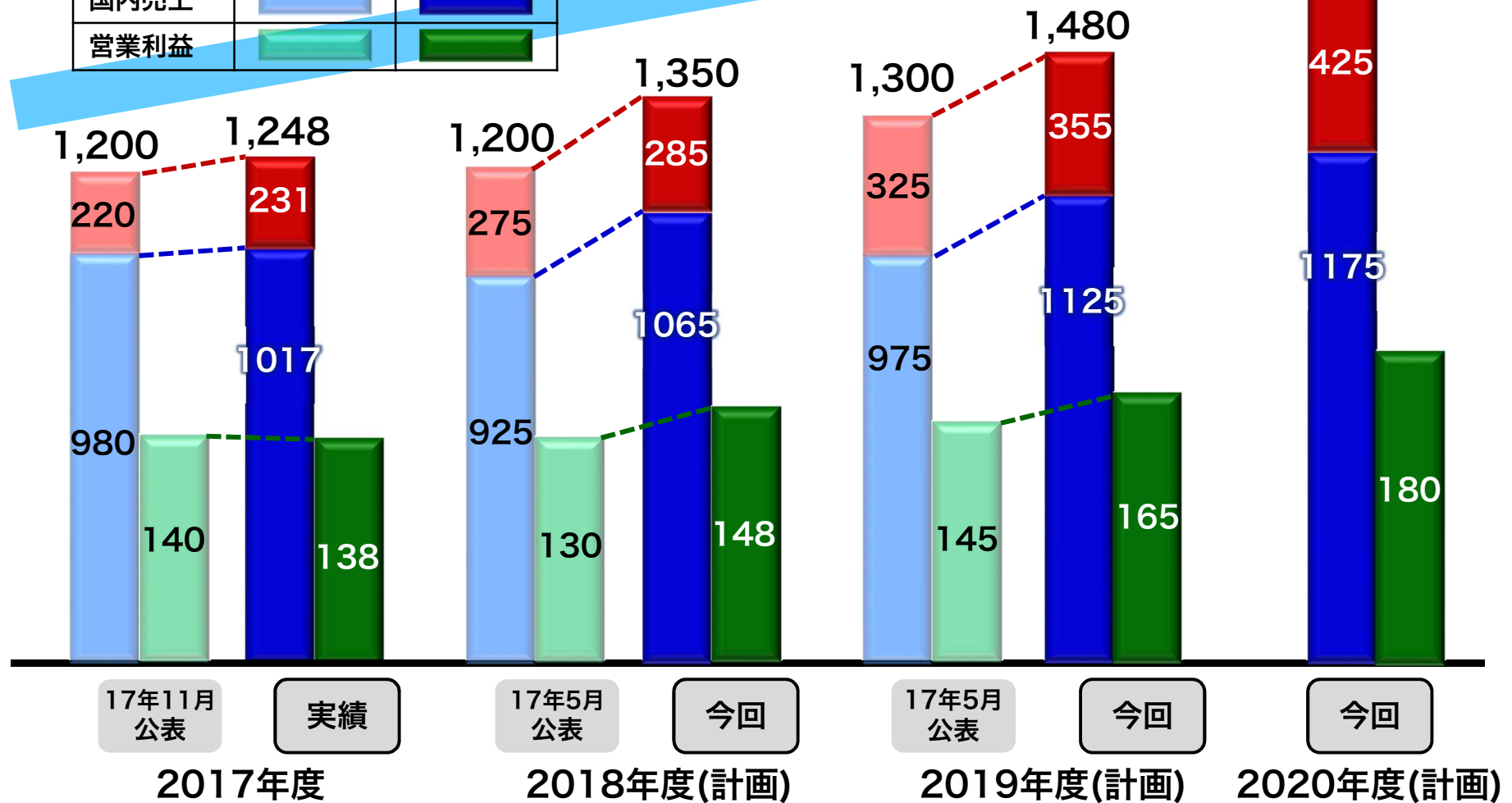
2017年度公表値との対比

発表年度	2017年度	2018年度
海外売上		
国内売上		
営業利益		

ランドリー事業追加
による上乗せ

単位：億円

継続的な成長を維持



5. ランドリー事業

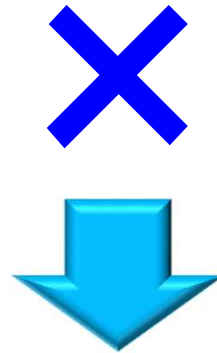


5 ランドリー事業

アイナックス稲本のこれからの取り組み

＜アイナックス稲本＞
業務用クリーニング機械
リーディングカンパニー

お客様の
未来をかたちに
「きれいと安心」のアイナックス稲本



＜ミウラグループ＞



熱・水・環境の分野で、
環境に優しい社会、
きれいで快適な生活の
創造に貢献します

5 ランドリー事業

主な導入業態（お客様事例）

ホーム クリーニング

一般家庭の洗濯物
クリーニング

- ・スーツ
- ・Yシャツ
- ・スカート
- ・ドレス



ホテルリネン サプライ

レンタル&
クリーニング

- ・シーツ
- ・タオル
- ・ピロケース
- ・浴衣



病院基準 寝具

レンタル&
クリーニング

- ・毛布・包布
- ・清拭(身体を拭く)
- ・患者衣
- ・マットレス



貸おしぼり 貸おむつ

レンタル&
クリーニング

- ・おしぼり
- ・おむつ



ダスコン

レンタル&
クリーニング

- ・モップ
- ・玄関マット
- ・ロールタオル
- ・産業用ウェス



自家設備

各種施設専用の
洗濯設備

- ・福祉施設
- ・温浴施設
- ・工場作業着
- ・醸造所
- ・医療機関



コイン ランドリー

洗濯機・乾燥機

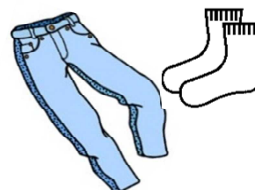
- ・コインランドリー店舗



繊維加工

染色・ストーン
ウォッシュ等
繊維製品の加工

- ・ジーンズ
- ・靴下
- ・パスト



ユニフォーム

レンタル&
クリーニング

- ・手術衣・看護衣
- ・自動車工場
- ・半導体工場
- ・食品工場・飲食店
- ・コンビニ



その他

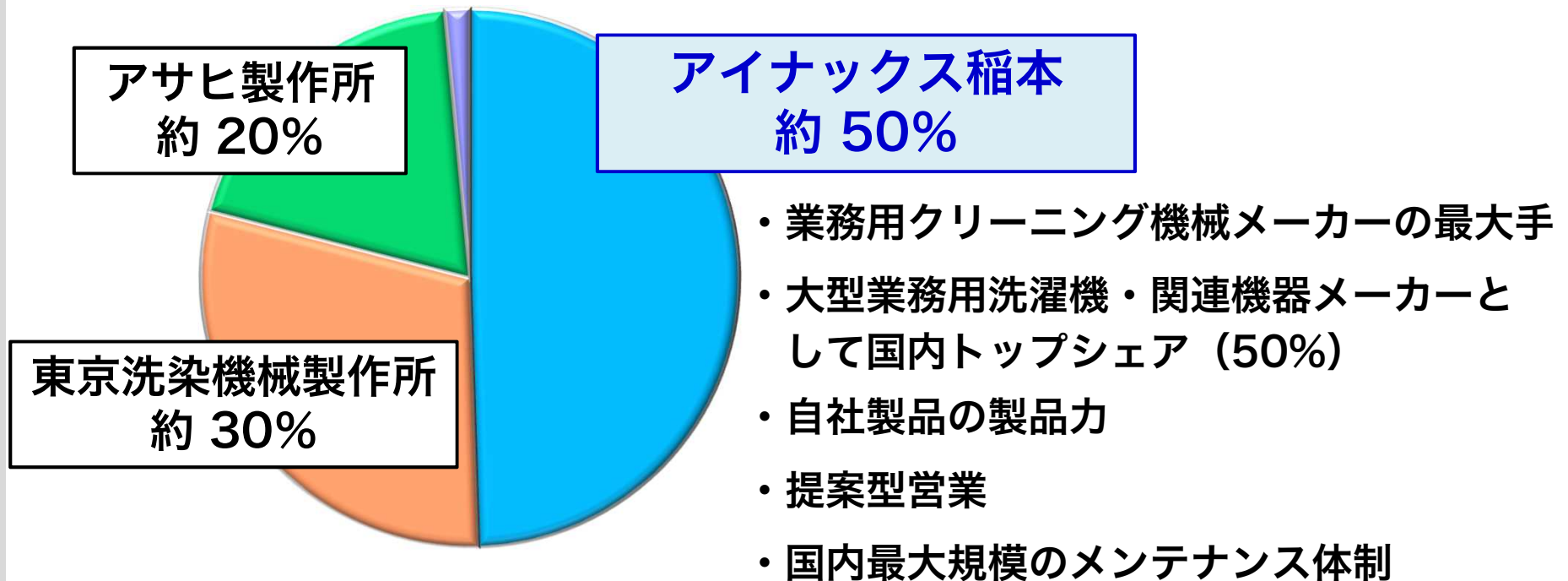
繊維製品・建築資材等
レンタル&クリーニング

- ・鉄道会社・航空会社
- ・タクシー会社
- ・建築資材会社
- ・畜産会社
- ・製糖会社



5 ランドリー事業

業務用クリーニング機械の国内市場売上シェア ※2018年3月時点



大規模リネンサプライ工場、クリーニング工場向けの
「エンジニアリング」「メンテナンス」に強み

クリーニングとリネンサプライの違い

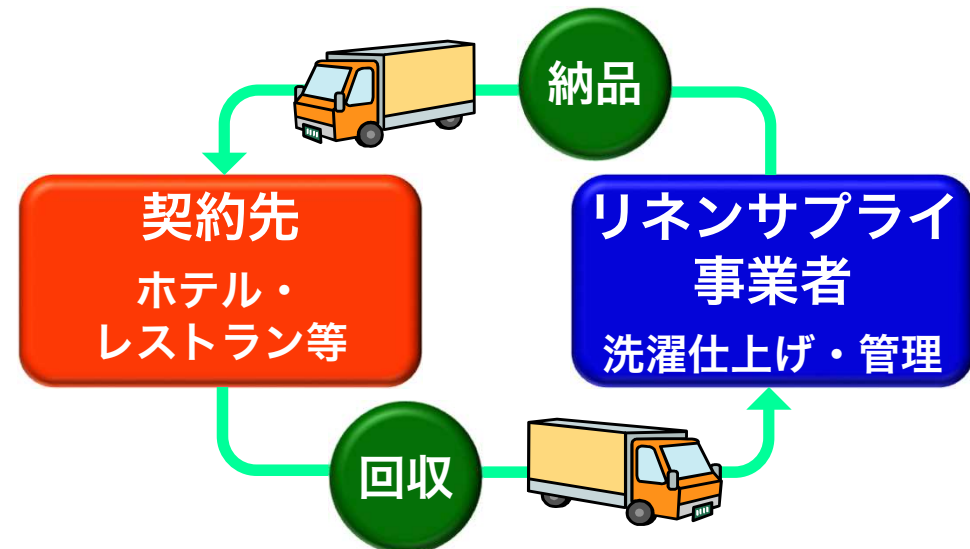
クリーニング

品物を洗濯するだけのサービス
一般的なクリーニング業



リネンサプライ

リネン品を貸出し、使用後は洗濯して戻す
リース+クリーニングの複合サービス

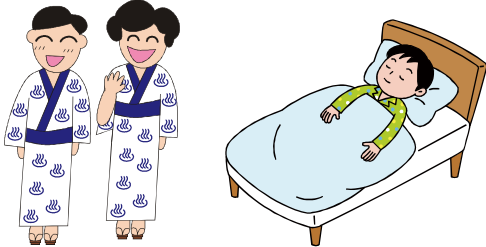
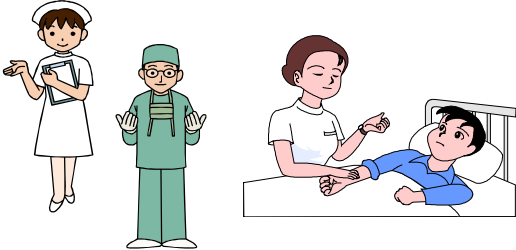


<利用メリット>

- ① 備品（シーツ等）調達不要＝資金不要
- ② 在庫管理不要→人件費・保管スペース削減
- ② 専門業者が大量に衛生的に仕上げ

5 ランドリー事業

リネンサプライ業の主な需要分野

業態	業務内容
ホテルリネン 	ホテル向け寝具、タオルなどのレンタル
病院リネン 	病院向け寝具などのレンタル
ダストコントロール 	清掃用モップ類、雑巾、玄関マットなどのレンタル

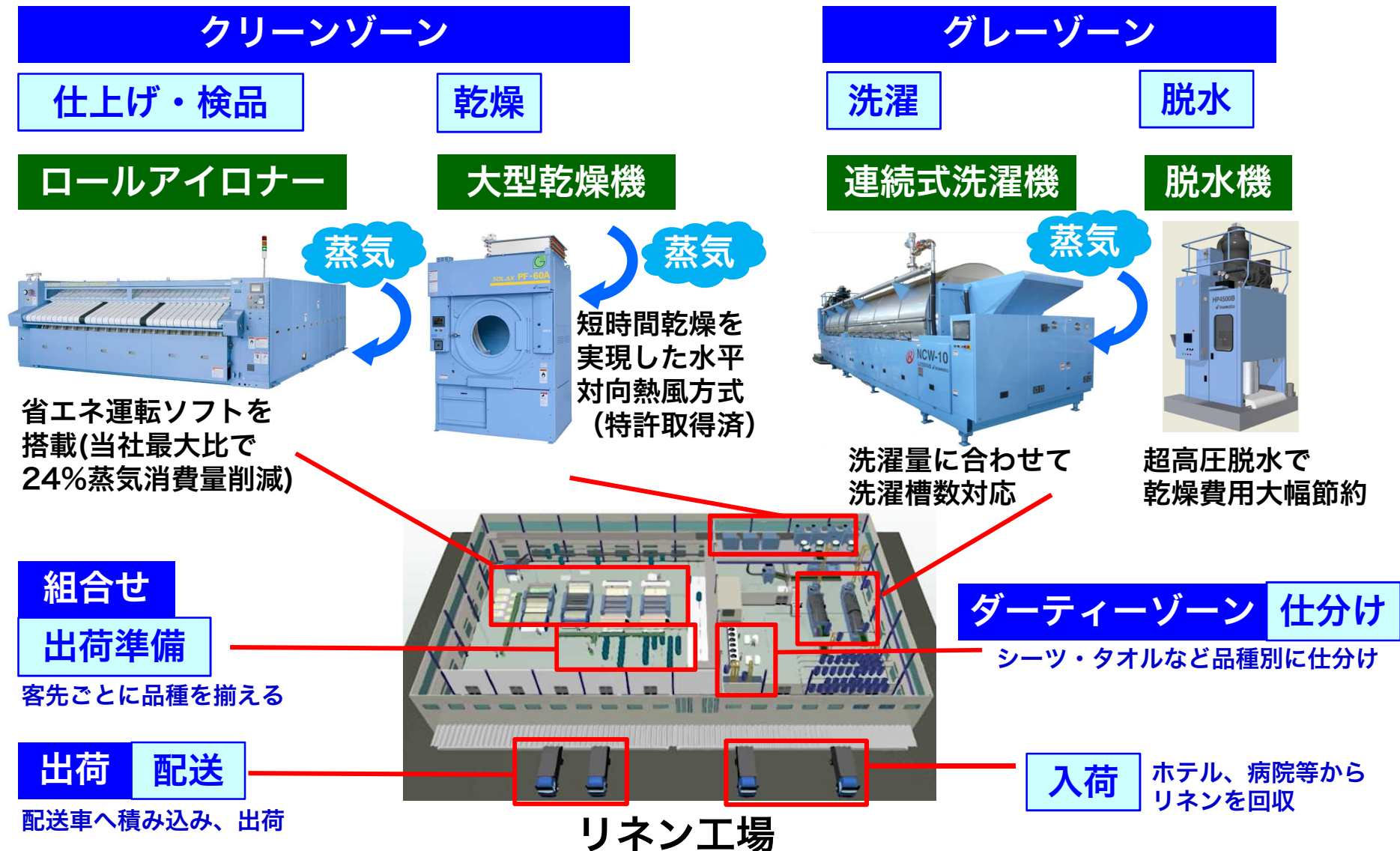
5 ランドリー事業

| リネンサプライ工場

動画 約5分間

5 ランドリー事業

リネン工場の流れと主要製品

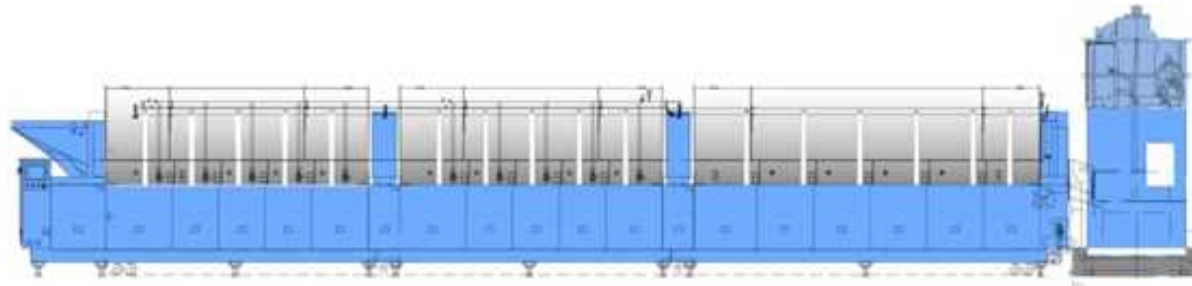


主力商品 <連続式洗濯機> リネンサプライ工場で大量に洗濯

大きさ比較

連続式洗濯機

全長 17.8m



山手線

全長 20.0m



<特長>

- ① 洗いながら高温洗浄を行う事で衛生的
- ② 60kg/回の衣料を2～3分ごとに連続的に洗濯
- ③ すすぎ水をリサイクルする節水タイプ
- ④ コンパクト設計

リネンサプライ工場の問題解決にチャレンジ



リネンサプライ工場を抱える問題

洗濯機械は大きい、工場のスペースは限られている
水を吸った洗濯物は重く、重労働（シーツなど）

大量の洗濯は人手と時間が掛かる



業種により洗濯方法を変えなくてはならない（食品系、工業系、医療系など）



アイナックス稲本の強みである
「エンジニアリング」でトータルに解決！

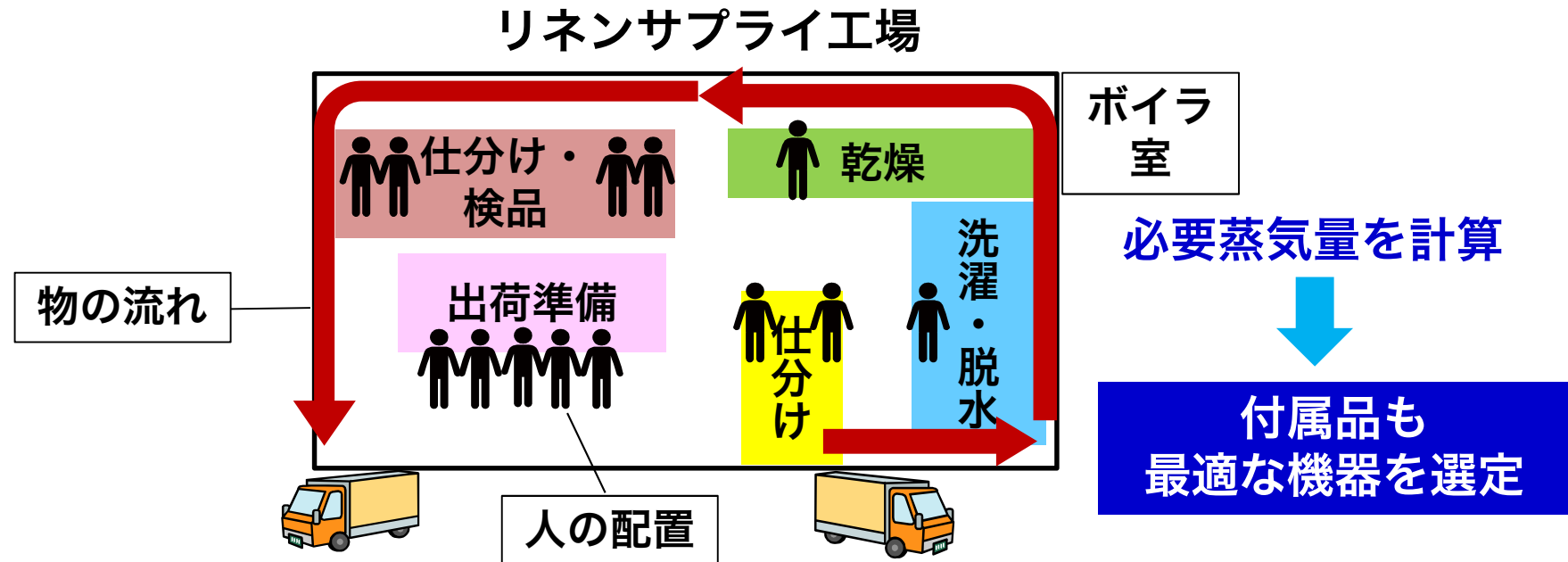
省力化

省人化

自動化

工場の新設・改装の提案から設備の製造、設置、稼働、アフターフォローまで対応

エンジニアリングで生産性の効率を上げる



限られたスペースに最適な機械、システムを構築する

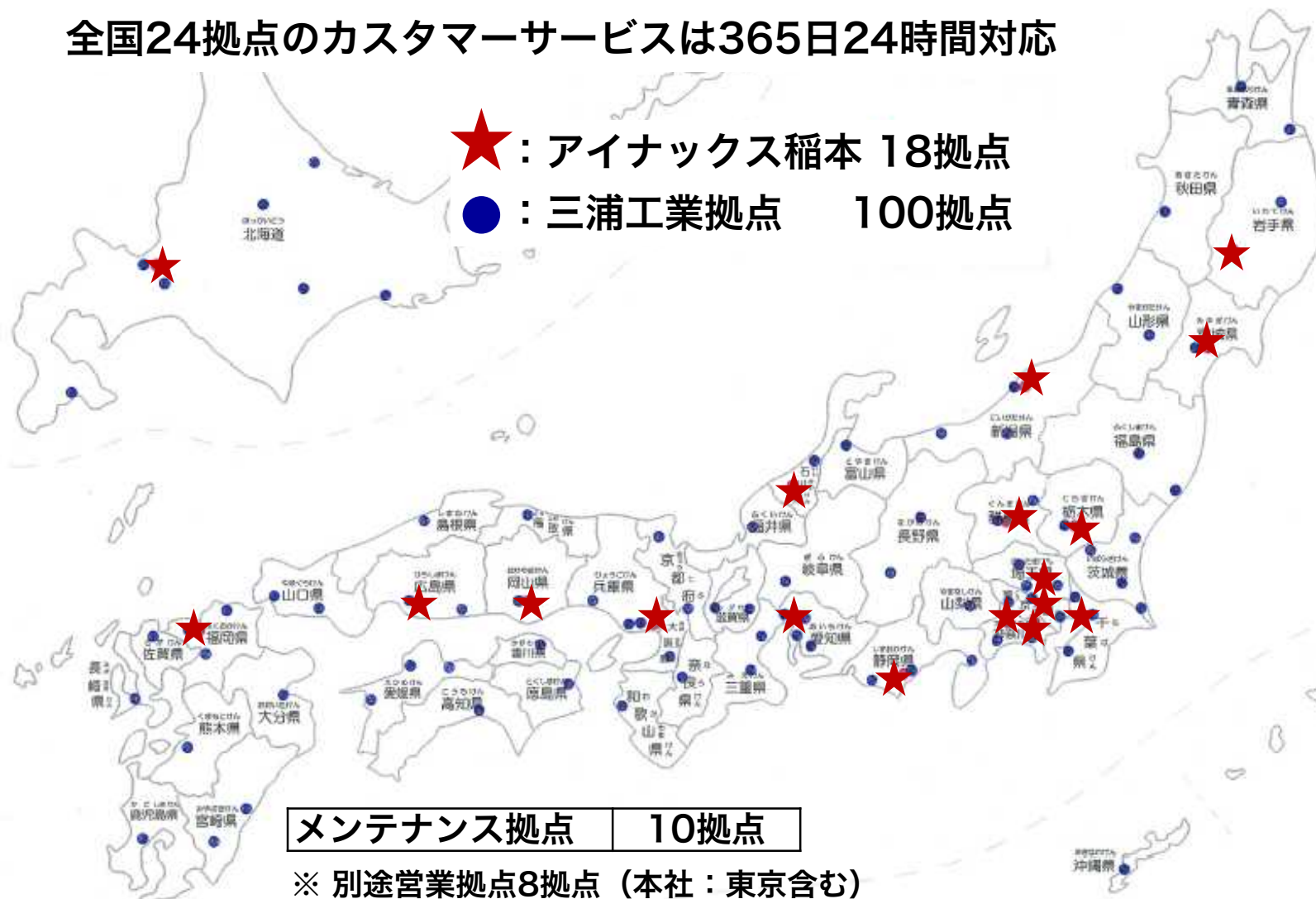
労働と物の流れの効率が上がり、短い時間で大量の商品を処理

生産性効率アップと燃料代節約による省エネ

5 ランドリー事業

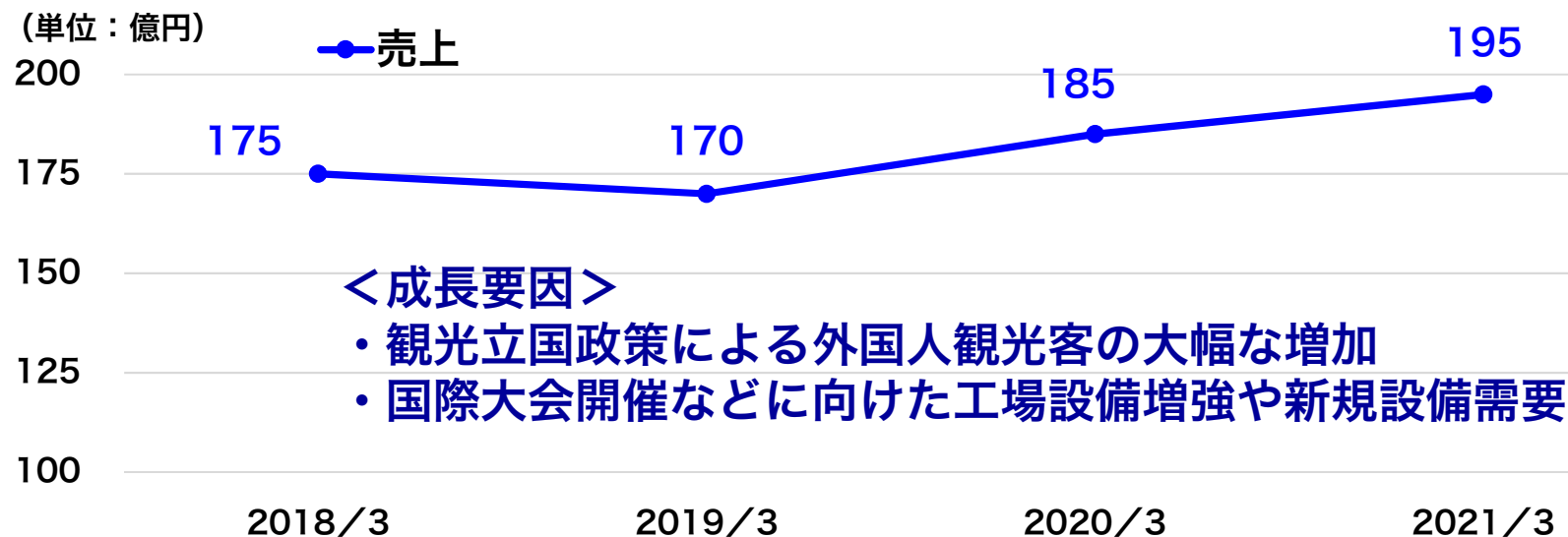
アフターフォローの充実 ※2018年3月時点

全国24拠点のカスタマーサービスは365日24時間対応



5 ランドリー事業

ランドリー事業の中期経営計画



日本政府もインバウンド消費拡大を目指し「観光立国推進基本計画」を閣議決定

目標項目	平成29～32年までの目標	平成27年実績
日本人国内旅行消費額	21兆円	20.4兆円
訪日外国人旅行者数	4,000万人	1,974万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	3.5兆円
訪日外国人旅行者に占めるリピーター数	2,400万人	1,159万人
訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数	7,000万人泊	2,514万人泊

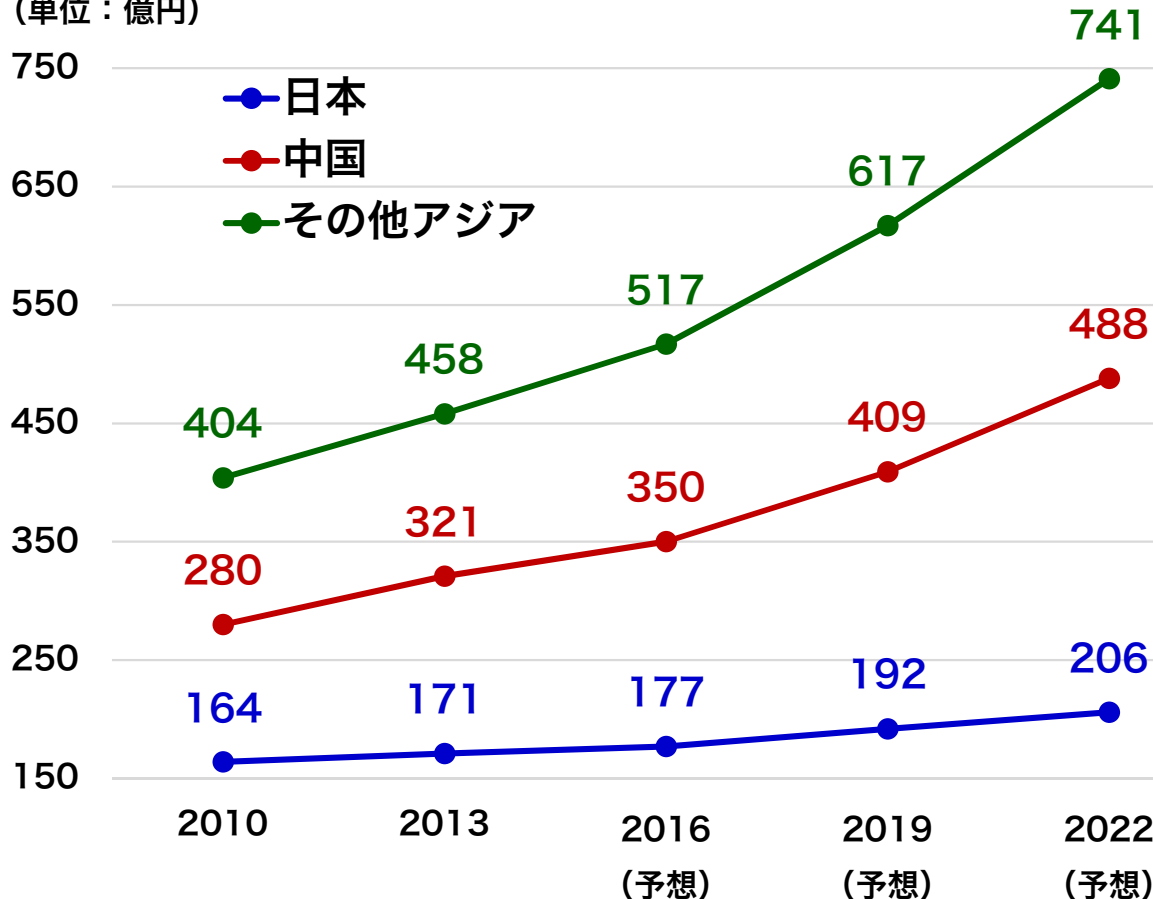
出典：国土交通省観光庁のホームページより抜粋

5 ランドリー事業

将来の海外展望

業務用クリーニング機械の需要推移

(単位：億円)



<その他アジア※>

- ・生活レベルの向上

<中国>

- ・高齢化による老人ホームの増加
- ・生活レベルの向上

<日本>

- ・高齢化による老人ホームの増加
- ・海外観光客の増加

※その他アジア…オーストラリア、香港、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ

注1：Global Industry Analysts社の予想

注2：2017年4月末の為替レート：1USD=111.4円を使用して円換算にて表記

出所：COMMERCIAL LAUNDRY MACHINERY - A GLOBAL STRATEGIC BUSINESS REPORT 06/16 (Global Industry Analysts, Inc.)

6. 新ショールームのご紹介

6 新ショールームのご紹介

「トータルソリューション」を世界のお客様へ発信

着 工 2017年3月
完 成 2018年5月
総工費 約22億円

建築面積	ショールーム棟	約 400m ²
	事務所西棟	約 1,200m ²
延床面積	ショールーム棟	約 770m ²
	事務所西棟	約 4,600m ²

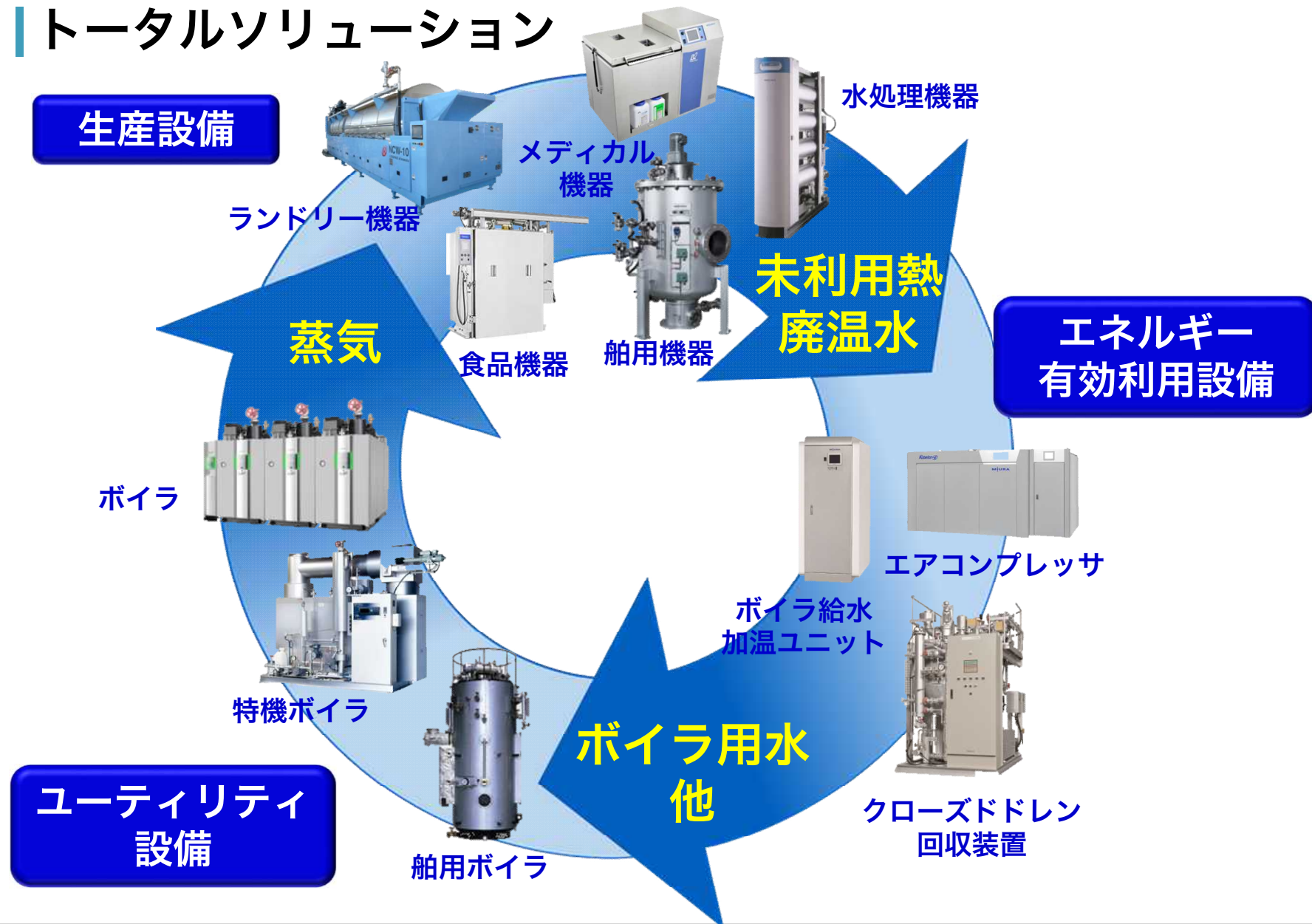
- ・ 機器の展示
- ・ 歴史、創業者三浦保の紹介
- ・ シアタールーム など

- ・ ボイラ実証ルーム
- ・ 軟水体験
- ・ CSRの取り組み紹介 など



6 新ショールームのご紹介

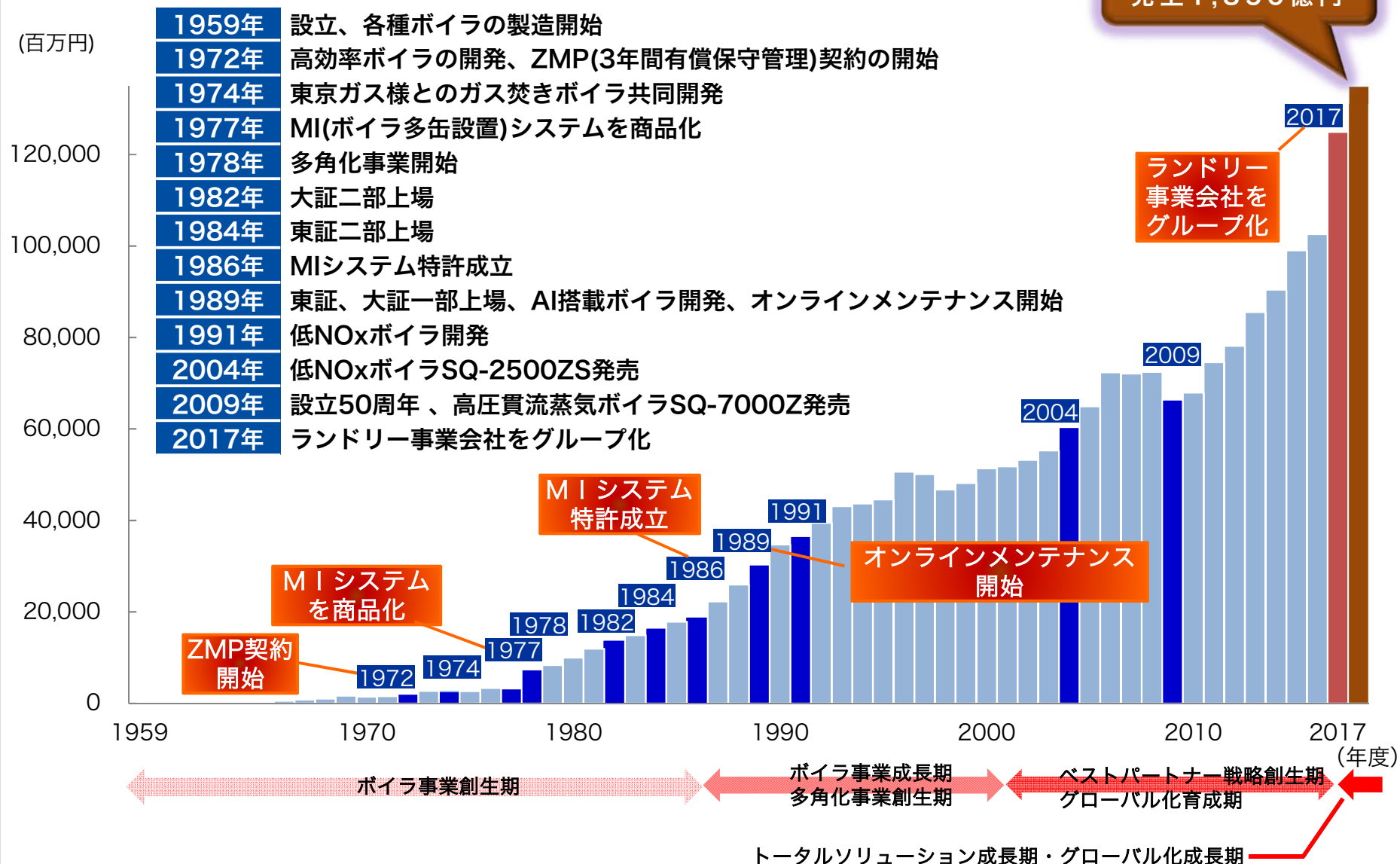
トータルソリューション



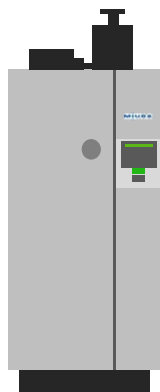
7. 参考資料



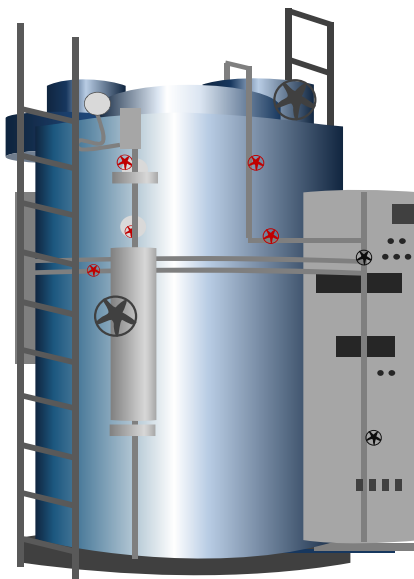
業績の推移、沿革



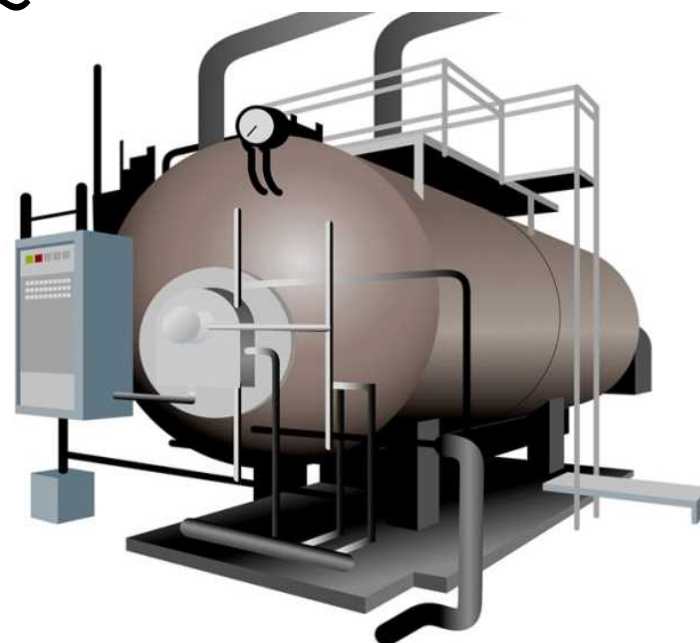
ボイラの種類 ～ 同容量のボイラ比較 ～



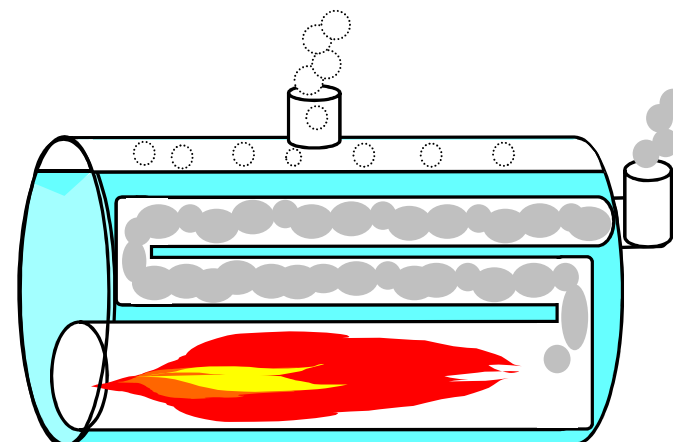
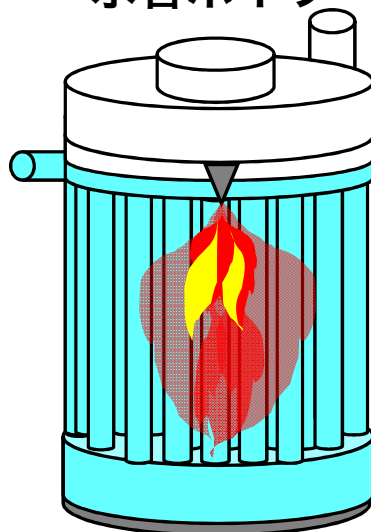
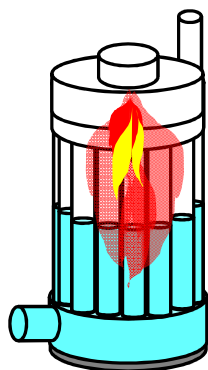
貫流ボイラ



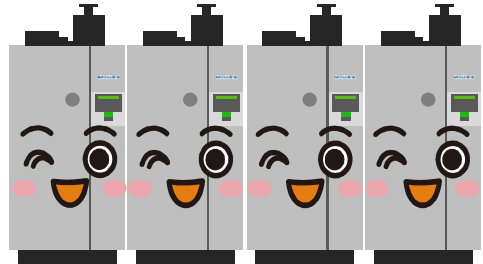
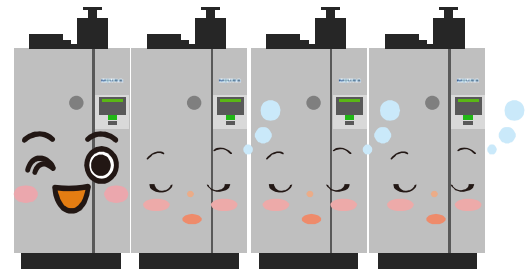
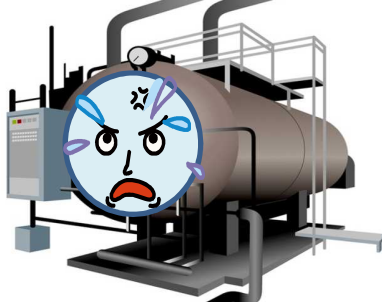
水管ボイラ



炉筒煙管ボイラ

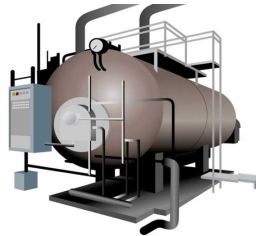


小さなボイラのメリット

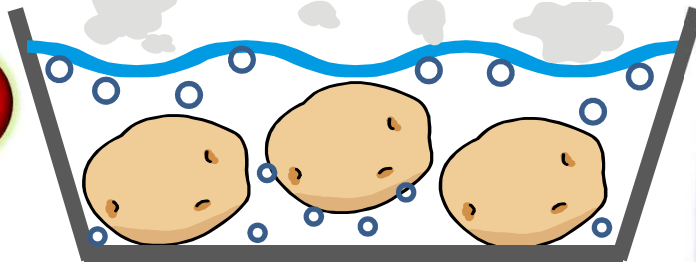
	ビルの状況	小さなボイラの並列 (MIシステム)	大きなボイラ
日中は負荷 高		 貫流ボイラ	 炉筒煙管ボイラ
夜間は負荷 低		 必要な負荷分だけ稼動 ◎効率が良い	 負荷に関係なく稼動 ×効率が悪い

ミウラのMIシステム（Multiple Installation system）とは
必要時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコスト低減やCO₂、
NOx等の排出量削減に繋げる

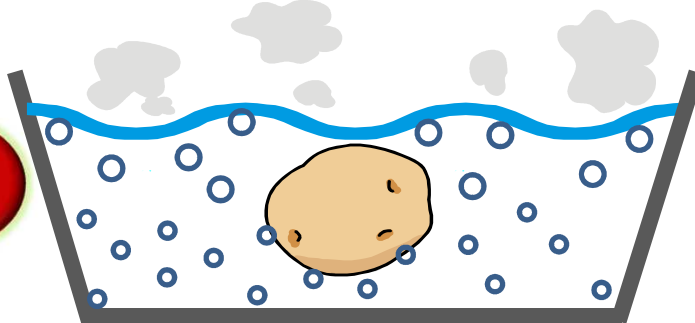
大きなボイラ1台



3個



1個

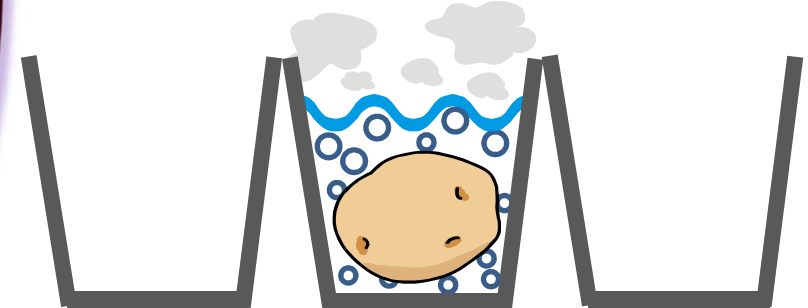
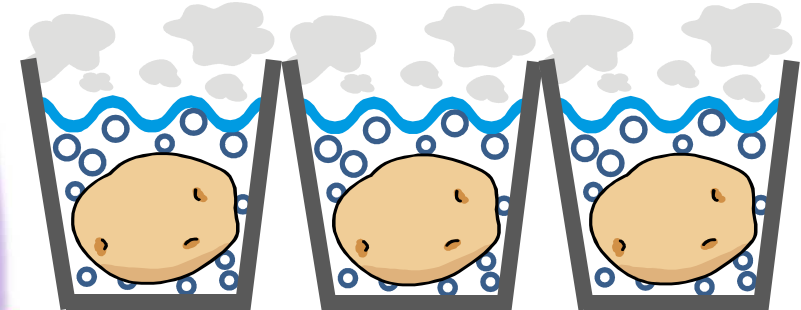
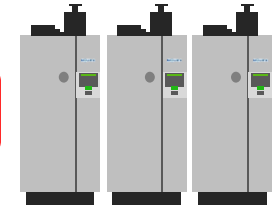


ポテトが減ってもお湯の量は減らない

省エネ化

省スペース化

小さなボイラを複数台



ポテトが減ればお湯の量は少なくなる

省力化

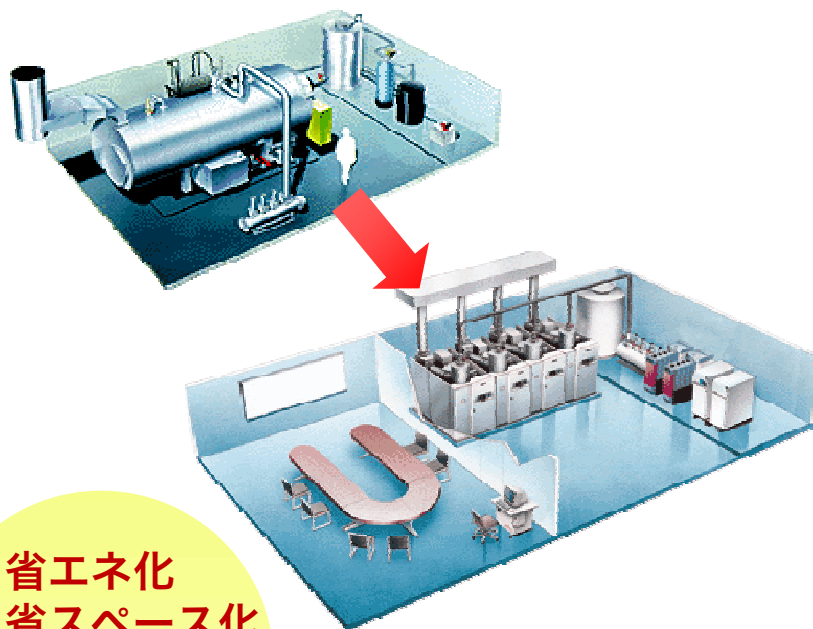
低公害化

なぜMIシステムは
効率的なのか？

1986年 ボイラ多缶設置 (MI) システム特許成立

MI システム (Multiple Installation system) とは

小型貫流ボイラの特徴を活かした画期的な省エネルギーシステム



- 省エネ化
- 省スペース化
- 省力化
- 低公害化



必要な時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコストの低減やCO₂、NO_x等の排出量削減に繋げる

ZMP 契約とは？

契約期間

3年毎に契約更新



5期15年

契約内容

3回／年の点検
交換部品無償

突発故障対応
交換部品無償



異常の察知

故障原因の
事前把握

お客様の
安全安心

早期復旧

水分析

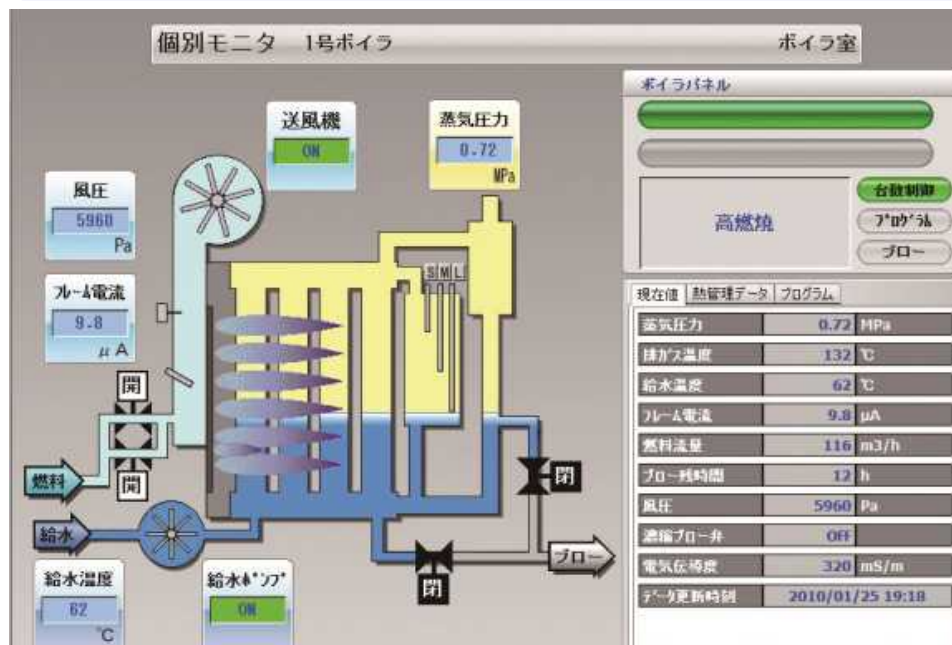


オンラインメンテナンス



オンラインメンテナンス

27年前から「IoT」を活用したハイテクサービスで高い収益性を維持



遠隔監視で状況確認

監視

ユーザー

対処方法を電話連絡
(データ収集・解析)

オンライン管理缶数
約 60,000台
※ボイラ以外の機器も含む
(2018年4月末現在)



出向

現場に行かない

故障の原因がわかる

事前準備出来る

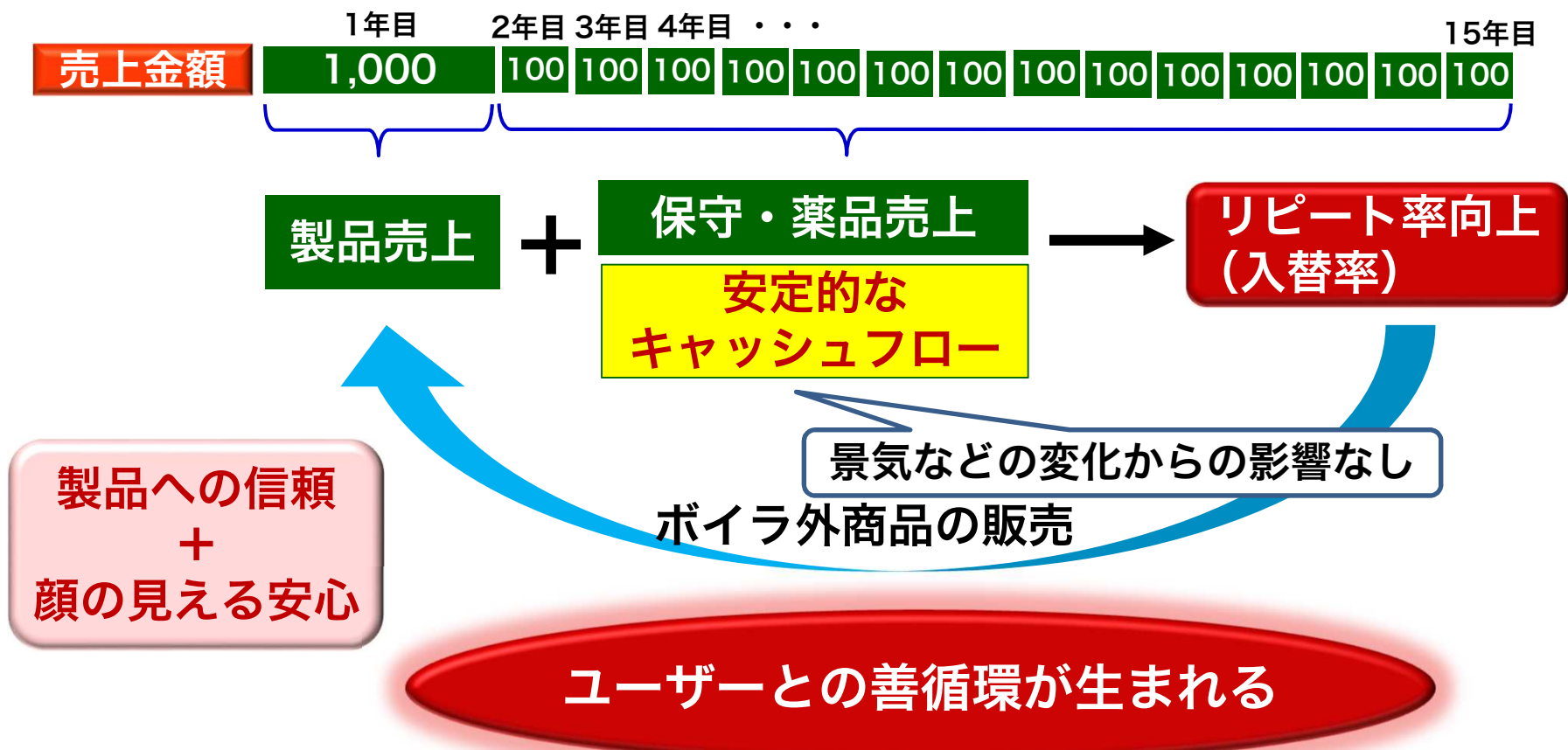
早期回復

1人当りの管理缶数の増加、効率的メンテ、
メンテナンス員を3K（危険・汚い・きつい）から解放

ボイラのライフサイクルとミウラのビジネスモデル

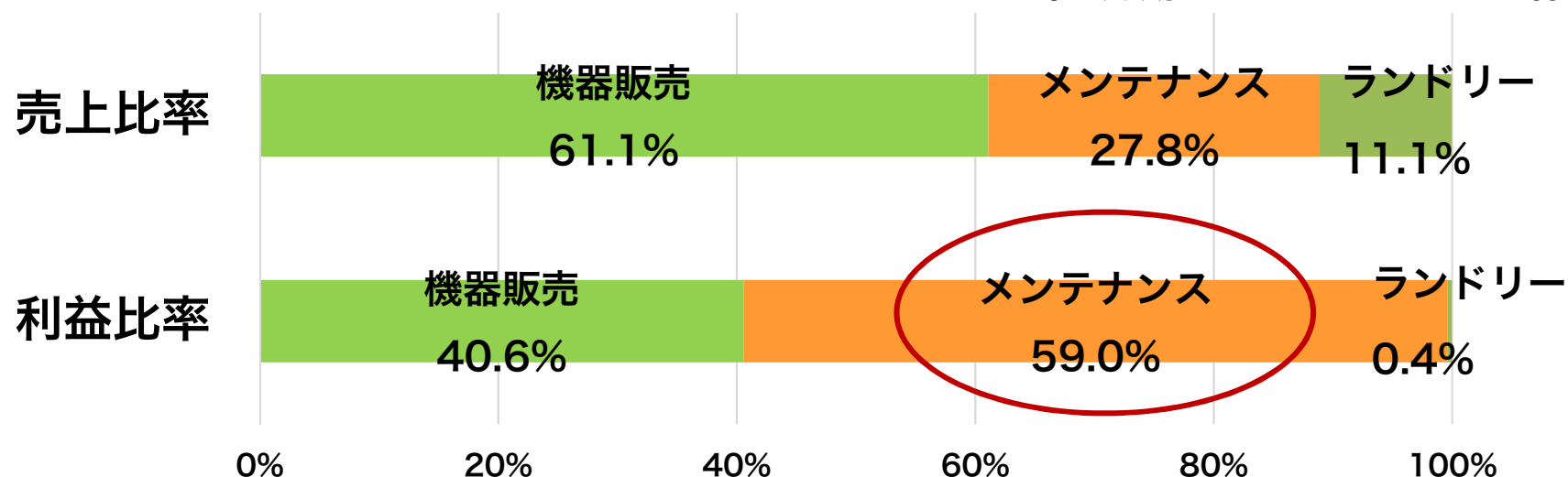
製品の売切ではなく、納品後の保守売上、消耗品売上が継続する

ボイラの寿命を15年とした場合



利益率の高いメンテナンス事業

*2018年3月期 ミウラグループ全体



ミウラメンテナンス ネットワーク

拠点数

約100ヶ所

サービスエンジニア

約1,100名



中長期的な経営戦略

国内戦略

① トータルソリューション

- ・ ミウラの製品で、工場全体のエネルギー効率の向上を図り、オールミウラのワンストップメンテナンスを実現する

② バラスト水処理装置

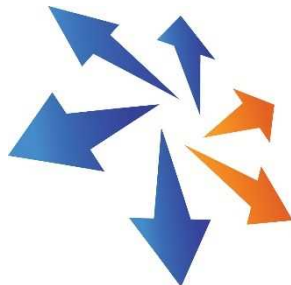
- ・ USCGの型式認証取得
- ・ ボイラで培った技術力、メンテナンス力、お客様との信頼関係を活かし、優位に立つ



海外戦略

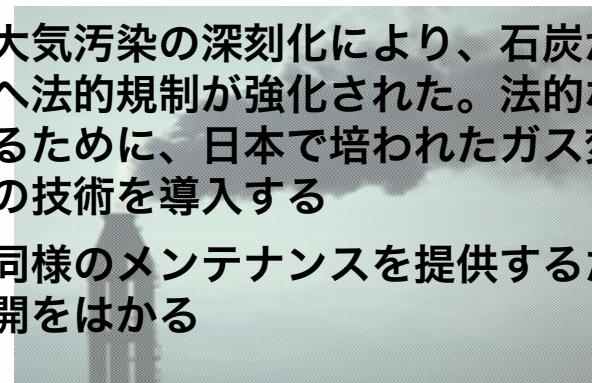
① 日本ビジネスモデルの水平展開

- ・ M I システムのメリットを省エネ提案する
- ・ 納入実績を重ね、ミウラボイラの世界展開をはかる



② 中国の石炭焚きボイラの入替

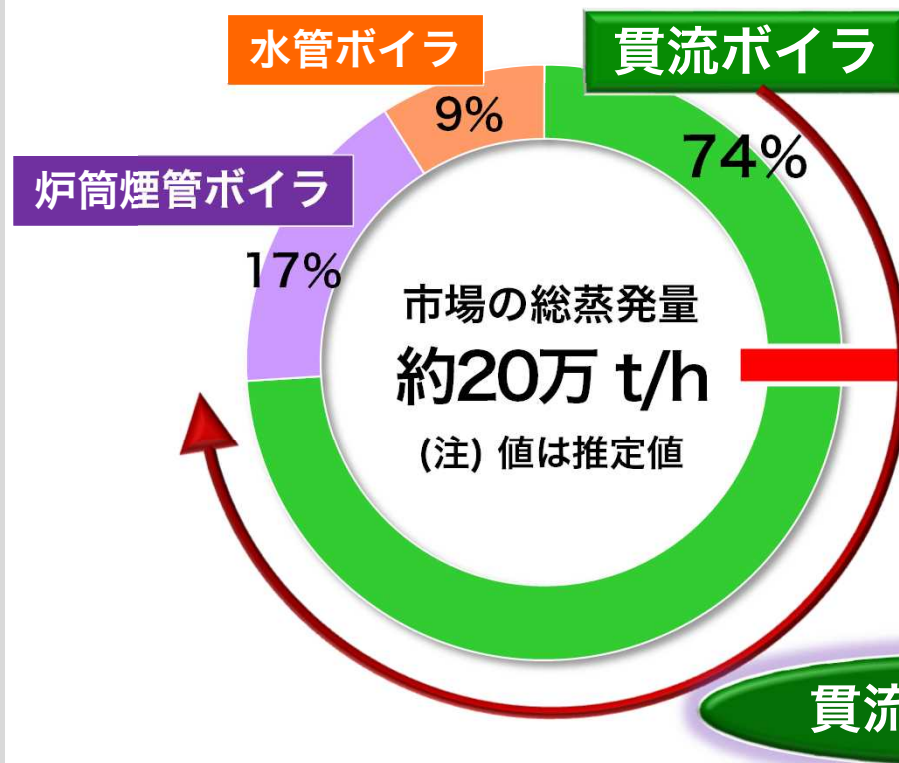
- ・ 中国の大気汚染の深刻化により、石炭からガス化へ法的規制が強化された。法的な要求に応えるために、日本で培われたガス焚きボイラの技術を導入する
- ・ 日本と同様のメンテナンスを提供するために、拠点展開をはかる



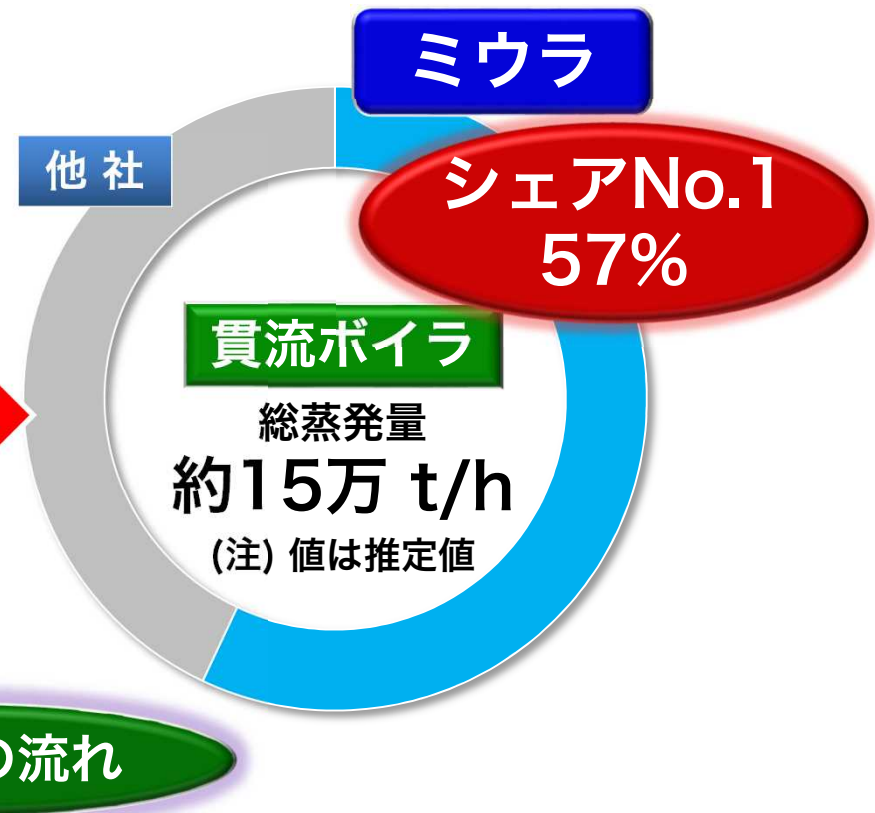
国内の業界シェア

*発電用を除く・2017年9月自社調べ

国内のボイラ市場



国内の貫流ボイラ市場



主な競合メーカー

(株)日本サーモエナー
(株)サムソン

(株)IHI汎用ボイラ
川重冷熱工業(株)

(株)ヒラカワ
(株)よしみね

(注) 貫流ボイラのシェアは、当社の独自調査に基づくものであり、実際の値とは異なる可能性があります。

成熟しつつある国内市場で何を提案していくか？



ボイラ外商品

水処理装置



食品機器



医療用機器



ランドリー



船用機器

船用ボイラ



バラスト水処理装置



愛媛県立中央病院 様

～ B C P (Business continuity planning) を考慮した緊急事態への備え～



燃料切替ボイラ



真空冷却機



蒸気滅菌システム



減圧沸騰式洗浄器



ろ過装置

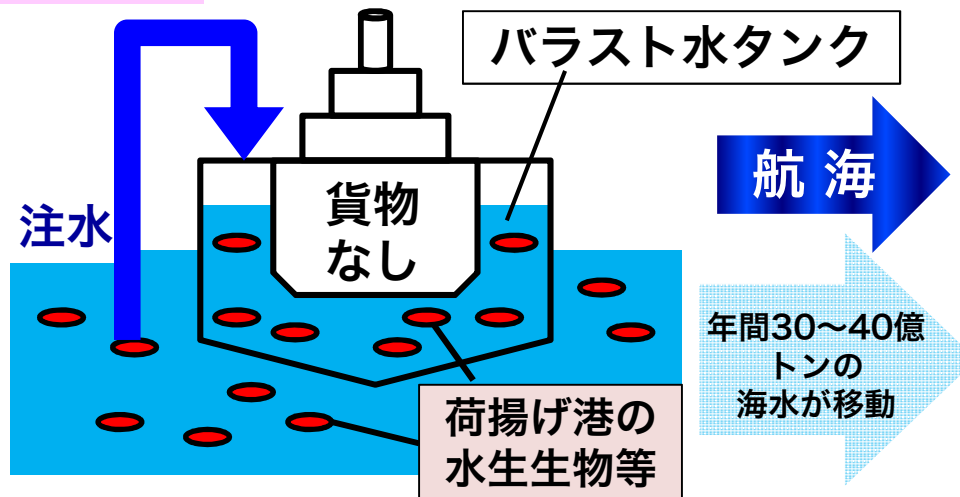
食品工場における食品機器トータルソリューション



バラスト水問題「新しい市場の誕生」

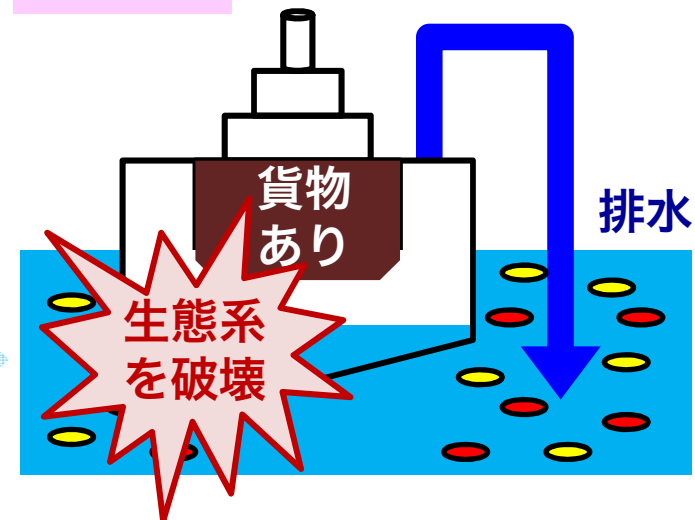
バラスト水とは
荷物を積んでいない船を安定させるために、船内のタンクへ取り込まれる水

荷揚げ港



積み荷港

国土交通省発行資料より



「荷揚げ港」から
「積み荷港」への
水生生物等
の移動

生態系破壊
の
環境問題

バラスト水管理条約 (2004年採択)
→バラスト水処理処置の搭載 義務化

2017年9月 義務化

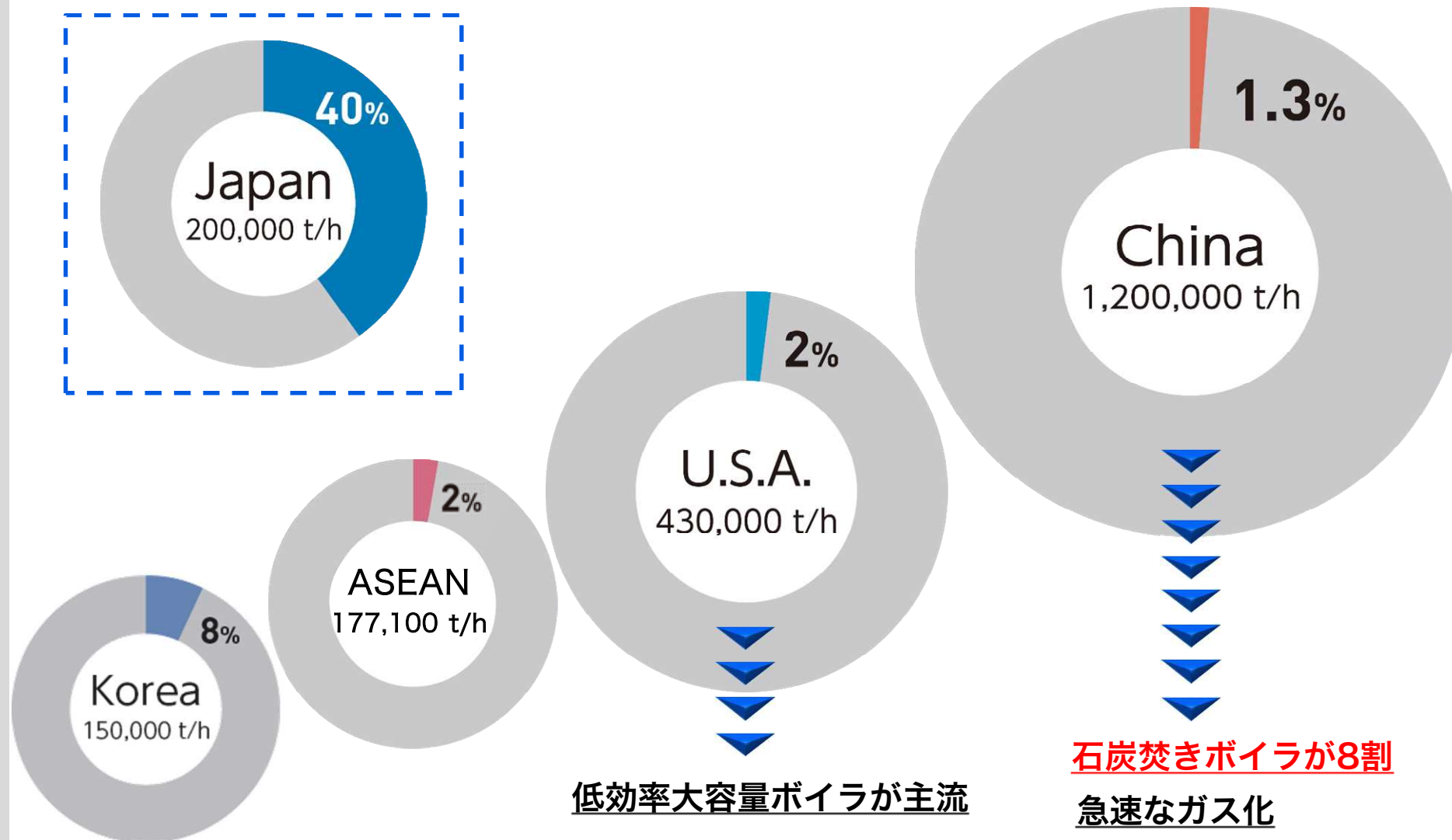
2019年9月 義務化

新造船

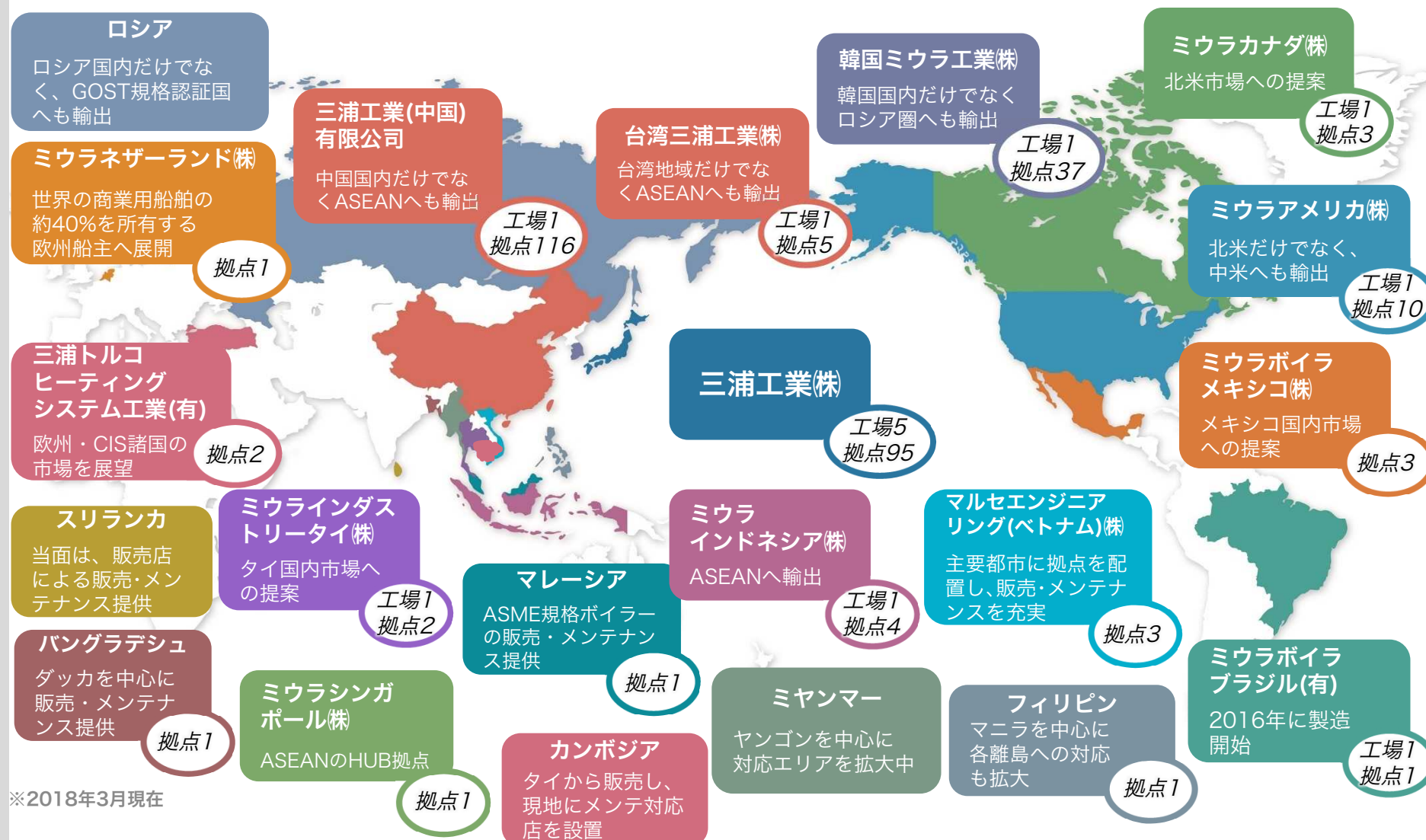
就航船

ボイラ市場（ミウラの市場占有率）

* 蒸発量ベース・2018年3月自社調べ



ミウラのネットワーク



※2018年3月現在

ご清聴ありがとうございました

熱・水・環境のベストパートナー



問い合わせ先

三浦工業株式会社 経営企画室

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <http://www.miuraz.co.jp>